

木津川市立加茂小学校



加茂小学校校歌

桜井 武雄 作詞作曲

一 加茂の子どもは明るい子

なかよくすなおなよい子ども

鹿背山木津川友として

学びにはげむ小学生

ぼくたち加茂の小学生

二

加茂の子どもは元気な子
教えの庭のあたたかく

山ふところにいだかれて

ゆたかにのびる小学生

わたしら加茂の小学生

三

加茂の子どもは日本の子
日本の子どもは世界の子

みんなでつくるよい国の

平和な町の小学生

ぼくたち加茂の小学生

郵便番号

619-1152

所在地

京都府木津川市加茂町里西上田11番地1

電話

(0774) 76-2102

FAX

(0774) 76-8002

E-mail

kamo-es@kizu.ed.jp

HP・URL

<http://www.kizu.ed.jp/kamo-es/>

1 沿革

明治	8年	2月	加茂町大字里に里村小学校として創立
	20年	7月	加茂尋常小学校と改称
	21年	8月	相楽郡第四高等小学校併設
	32年	5月	加茂町尋常高等小学校と改称
	36年	10月	加茂町大字里小字東上田一番地に校舎新築
昭和	16年	4月	国民学校令により加茂国民学校と改称
	22年	4月	法律並びに文部省令により加茂町立加茂小学校と改称
	29年	10月	中校舎、木造二階建8教室改築竣工
	31年	9月	南校舎、木造二階建8教室改築竣工
	34年	2月	校旗、児童会旗新調、新校歌制定
		8月	給食調理室竣工、9月より完全給食実施
	35年	11月	京都府より昭和35年度健康優良特選校受賞
	37年	12月	京都府より昭和37年度健康優良校受賞
	38年	3月	京都府より昭和37年度安全優良校受賞
		8月	毎日放送より学校教育テレビ協力感謝状受賞
		9月	学校給食優良校として文部大臣表彰受賞
		10月	育友会活動優良に付き京都府PTA協議会長、全国PTA協議会長、文部大臣表彰受賞
		12月	昭和38年度健康優良校として京都府及び朝日新聞社より受賞
	40年	4月	障害児学級併設
		11月	学校図書館優良学校として文部大臣表彰受賞
	41年	3月	学校基本調査優良学校として文部大臣表彰受賞
	42年	10月	小学校教育課程、国語科京都府実践学校の指定をうけ研究発表
		11月	学校図書館優良学校受賞 全日本歯の優良校受賞
	44年	10月	学校給食京都府実践学校の指定をうけ研究発表
	45年	10月	学校給食京都府実践学校として44年度に引き続いて指定をうけ研究発表 同和補習学級開設
	47年	3月	本館、並びに体育館改築竣工
	49年	3月	創立百周年記念行事を行う
	54年	2月	京都小学校お話コンクール、最優秀学校賞受賞
	56年	12月	京都小学校社会科研究大会を行う
	58年	6月	現在地に新校舎新築移転、プール竣工（7月）運動場整備（8月）
	60年	9月	よい歯の学校特別表彰
	62年	3月	学校農園設置
	63年	11月	優良子ども銀行で大蔵大臣・日銀総裁表彰を受ける
平成	元年	1月	府小教研・府教育実践校、特別活動研究発表会開催
		7月	中庭整備
	3年	1月	視聴覚室整備 京都府小学校視聴覚教育研究大会開催
		5月	京都府交通安全優良学校として受賞

	8月	観察池設置
4年	5月	校長室エアコン設置
6年	3月	研究紀要「かもの教育」第1号発刊 職員室・保健室エアコン設置
	11月	創立120周年記念行事を行う
7年	3月	研究紀要「かもの教育」第2号発刊
	11月	学校給食優良校として文部大臣表彰受賞
8年	1月	学校給食優良校として京都府教育長表彰受賞
		学校給食優良校文部大臣・京都府教育長表彰受賞記念式典を行う
	3月	研究紀要「かもの教育」第3号発刊
	4月	平成8、9年度統計教育研究指定
9年	3月	研究紀要「かもの教育」第4号発刊
	4月	平成9、10年度小学校教育課程研究指定校（文部省）
10年	3月	研究紀要「かもの教育」第5号発刊
	10月	平成9、10年度小学校教育課程研究発表会開催
11年	3月	研究紀要「かもの教育」第6号発刊
	4月	社会福祉協力校指定
12月	3月	研究紀要「かもの教育」第7号発刊
	4月	平成12、13、14年度食生活に関する教育実践事業指定校（文部省）
	9月	耐震補強工事、コンピュータ教室完成
13年	3月	研究紀要「かもの教育」第8号発刊
	11月	平成12、13年度食生活に関する教育実践事業研究発表会開催
15年	3月	研究紀要「かもの教育」第9号発刊
	4月	障害児学級（情緒）併設
17年	4月	文部科学省より3年間の学力向上拠点形成事業の指定を受ける
19年	3月	木津川市誕生に伴い、木津川市立加茂小学校と改称
	4月	木津川市教育委員会より「教育実践研究校」の指定を受ける
	11月	文部科学省指定「学力向上拠点形成事業」・木津川市教育委員会指定「教育実践研究校」の研究発表会開催
22年	3月	新校舎増築
23年	4月	センター給食開始（木津川市立加茂学校給食センター（現）木津川市立第二学校給食センター）
24年	11月	優良PTA文部科学大臣表彰受賞
27年	11月	相楽地方小学校駅伝（持久走）大会優勝
30年	4月	京都府小学校教育研究会体育科研究部研究協力校を委嘱される（3カ年） 研究テーマ「児童が教え、認め、高め合う中で運動する充実感と自己肯定感が高まる体育授業を目指して」
令和元年	10月	京都府小学校教育研究会体育科2年次研究協議会開催
	2年	11月 京都府小学校教育研究会体育科教育研究大会開催
	3年	4月 京都府教育委員会「絆の作り手育成プログラム研究校」の指定を受ける (3カ年)
	6年	12月 創立150周年記念行事を行う

2 教育

(1) 教育目標

生きる力を育み、幸せな未来を拓く 児童の育成

- ア 主体的に学び、考える力・多様な人とつながる力・新しい価値を生み出す力の育成を図り、かけがえのない生命や基本的人権を尊重する人間性豊かな児童を育成する。
- イ 個性の伸長を図り、基礎学力を充実させ、生涯にわたり主体的に逞しく生き抜く児童を育成する。

(2) 目指す児童像

かしこく やさしく たのめしく

【児童のめあて】

- ・ 進んで勉強する子
- ・ 友達と仲良くする子
- ・ 最後までがんばる子
- ・ 命を大切にする子

(3) 目指す学校像

「一人一人が大切にされる、一人一人を大切にできる 加茂小学校」

(4) 目指す教師像

- ア 児童一人一人を深く理解し、寄り添った指導ができるよう、小さな変化にも気付くことができる教師
- イ 豊かな人間性と高い専門性に基づく優れた指導力を有し、児童一人一人が豊かな未来を切り拓いていけるよう、それぞれの個性や能力を最大限に伸ばすことができる教師
- ウ 探究心や自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を高めながら、諸課題の解決に向け、挑戦することができる教師
- エ 他の教職員、保護者や地域社会、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担しながら、組織的・協働的に諸課題を解決するため、チームの一員としてつながることができる教師
- オ 次代を担う人材に必要な学びを提供できるよう、広い視野で時代や社会、環境の変化を的確につかみ取り、未来を展望することができる教師

(5) 学校経営方針

第2期京都府教育振興プラン・学校教育の重点、第2次木津川市教育振興基本計画・学校教育の重点に則り、基礎基本の徹底、個性や能力を伸ばす教育の充実を図るとともに、変化の激しい社会に主体的に対応できる人間性豊かな児童の育成

- ・ 生涯にわたり主体的に学んでいける児童の育成
- ・ 何事にも一生懸命努力する人間性豊かな児童の育成
- ・ 地域に開かれ、地域とともに成長する開かれた学校の創造
- ・ 豊かな人間性と広い社会性、高い専門性を持った教師集団の育成

(6) 経営方針の柱

全教職員の協働体制のもと一人一人を大切にする教育活動を推進する。

◎ キーワード 「理解」「主体」「協働」「つなぐ」

- ・ 理解とは : 児童の実態と願い、保護者や地域の願い、環境や社会、必要な資質・能力に対する理解に努める。
- ・ 主体とは : 本校教員としての自覚と誇りを持ち、指導力を高めるために自ら学び判断し実践する。
- ・ 協働とは : 加茂小の子は、全ての教員で見るという認識のもと、学年集団を核として、組織的な関わりと連携を大切にする。
- ・ つなぐとは : 児童、教師、保護者、地域がしっかりとつながり、児童の成長を支える。また、教師相互のつながりを大切にし、チーム加茂小として指導にあたる。

(7) 具体的方針

ア 「個別最適な学び」と「協働的な学び」

(ア) 個別最適な学びと協働的な学びの展開

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。

- (イ) 学びに向かう力、人間性等の涵養と学習習慣の定着
自己調整しながら、主体的に粘り強く学習に取り組む態度の育成
基礎・基本の定着や学習習慣の確立を図り、学力の土台作りを推進する。
- (ロ) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
木津川市授業スタンダードに基づいた「わかる授業の創造」
わかる・できる喜び、学ぶ楽しさを実感させる。
- (エ) 活用する力の育成
思考力・判断力・表現力等の育成
- (オ) 9年間を見通した学力保障
校種間連携の推進と小中一貫教育の研究

イ 多様性を尊重し合う豊かな人間性

- (ア) 道德教育の推進
 - ・ 道德教育の推進体制の充実
 - ・ よりよく生きるための基盤となる道德性の育成
 - ・ 地域の資源を活かした学習活動や体験活動の充実
 - ・ 現代的課題に対応する指導の充実
- (イ) 生徒指導の充実
 - ・ 「みそあじ運動」の徹底を通して基本的な生活習慣を身に付けさせ、発達支援的生徒指導を充実させる。
 - ・ 道德性、規範意識の醸成と対面でのコミュニケーション能力の育成
 - ・ いじめや暴力を許さない学校づくり（いじめアンケートの活用）
 - ・ 不登校の未然防止と児童に寄り添う教育の推進（教育相談活動の充実）
- (ロ) 読書活動の推進
 - ・ 木津川市子どもの読書活動推進計画の推進
 - ・ 学校での、組織的、継続的な読書の実施
- (エ) 人権教育の推進
 - ・ 人権感覚をはぐくむ学習環境の創造（正しい理解と認識を深める人権学習の推進）
- (オ) 特別支援教育の推進
 - ・ 個々の教育的ニーズに応じた支援の推進、相談支援体制の充実
 - ・ ユニバーサルデザインの視点・多様な学びの場の設定

ウ 健やかな体の成長

- (ア) 食育の推進
 - ・ 家庭と連携した健全な食生活の定着
 - ・ 望ましい食文化の継承と地産地消の推進
 - ・ 安心、安全な学校給食の推進
- (イ) 体力の向上
 - ・ データに基づく児童の体力の向上
 - ・ 体育的行事の充実
- (ロ) 健康の保持増進
 - ・ 喫煙、飲酒、薬物乱用等の防止教育
 - ・ P T Aや家庭と連携した生活習慣の確立
 - ・ 学校保健、保健管理の充実
- (エ) 感染症対策の充実
 - ・ 様々な感染症対策の基本的な生活習慣の確立と人権的配慮
 - ・ 子どもたちの学びの場の保障
 - ・ 感染症が流行している場合の対応

エ 持続可能な社会を築く生きる力

- (ア) キャリア教育の推進
 - ・ 特別活動を要としつつ、教育活動全体を通して、組織的かつ計画的な指導を展開する。
 - ・ 将来を見通した系統的な教育の推進（キャリアパスポートの効果的な活用）

- ・ 相談体制の充実
- (イ) 情報教育の推進
 - ・ ICT活用能力の育成
 - ・ 情報モラルの育成
 - ・ 研究体制等の充実
 - ・ 情報環境の整備
- (ロ) グローバル化に対応できる人材の育成
 - ・ 多文化共生教育の推進
 - ・ 国際交流事業の推進
- (エ) 環境教育の推進
 - ・ 環境を保全する力の育成
 - ・ 環境問題についての理解と実践力をはぐくむ。
- (オ) 持続可能な開発のための教育（ESD）の推進
 - ・ 持続可能な開発のための教育の取組
 - ・ SDGsについての基礎学習
 - ・ 家庭と連携したSDGsの実施
- (カ) 防災教育の充実
 - ・ 危機管理能力の育成
 - ・ 実践的な防犯、交通安全教育の推進
 - ・ 計画的な研修の充実

オ 学びを支える教育環境の整備

- (ア) 困難な環境にある子どもへの支援の充実
 - ・ 子どもが置かれている環境の改善を図る取組の充実
 - ・ 児童の学習支援の充実
- (イ) 学校の組織力と教職員の資質向上
 - ・ 学校、園の組織力の向上
 - ・ 教職員の資質・能力の向上
 - ・ 教職員の健康管理
- (ロ) 魅力ある学校づくり
 - ・ 特色ある学校づくり
 - ・ 情報発信する学校づくり
 - ・ 協働、参加による学校づくり
- (ロ) 安心・安全なよりよい教育環境の整備
 - ・ 危機管理体制の確立
 - ・ 計画的な校内整備

カ 地域を学び、家庭・地域とともに生きる

- (ア) 社会総がかりによる子育て支援
 - ・ 地域の教育力を活かした教育環境の整備
- (イ) 家庭教育の支援
 - ・ 保護者への啓発活動の推進
- (ロ) 自然・歴史についての学習の充実
 - ・ 郷土愛をはぐくみ、未来へ継承する教育の推進
 - ・ 文化、芸術活動の推進
- (エ) 地域資源の活用
 - ・ 加茂地域ならではの地域資源を活かした教育の推進
- (オ) 文化財の活用
 - ・ 木津川市や加茂町の歴史文化を活用した地域学習の推進

木津川市立恭仁小学校



恭仁小学校校歌

作詞 辰巳 利治
作曲 中原 郁男

一、みどりの山を めぐらして
風さわやかな ふるさとは
恭仁の京の 宮どころ
昔しのんで 学ぶ子の
楽しい恭仁の 小学校
希望が窓に あふれてる

二、泉の流れ 清らかに
ふたぎの野辺を ゆくほとり
心ゆたかに ほがらかに
いつも元気に はげむ子の
明るい恭仁の 小学校
大きな夢を そだててる

三、さやかに晴れた 山川の
歴史はかおる みかの原
ここに巣立って たくましく
あすをになって 進む子の
仲よし恭仁の 小学校
かがやく未来 待っている

郵便番号
所在地
電 話
F A X
E-mail
HP・URL

619-1106
京都府木津川市加茂町例幣中切31・32番地
(0774) 76-2103
(0774) 76-8230
kuni-es@kizu.ed.jp
<http://www.kizu.ed.jp/kuni-es/>

1. 沿革

明治 6 年 5 月 1 日	創立 相楽瓶原小学校と称す 教科課程を上等下等の二等とする
〃 6 年 8 月	恭仁小学校と改称
〃 14 年	教科課程を初等中等高等の三等に改める
〃 20 年 7 月	恭仁尋常小学校と改称、高等科は加茂当尾両村と合併、加茂尋常小学校の一部をこれにあて、相楽郡第四高等小学校と称する
〃 22 年 11 月	相楽郡第四高等小学校の分教室を併置
〃 24 年 4 月	尋常小学校の分教室を併置
〃 24 年 8 月	尋常小学校の終業年限を 4 年と定める
〃 25 年 10 月	恭仁高等小学校を併置す 11 月同校の終業年限を 4 年に定める
〃 32 年 3 月 8 日	全校舎落成移転（小字 中切）
〃 32 年 6 月	恭仁尋常高等小学校と改称
〃 37 年 3 月	校章制定
〃 39 年 8 月 15 日	校章改訂並びに校旗新調
大正 12 年 5 月 1 日	創立 50 周年記念式を举行 以後 3 月 1 日の改築記念日を廃し、5 月 1 日を創立記念日に制定する
昭和 11 年 3 月 20 日	校地拡張 現在地に全校舎を改築
〃 22 年 4 月 1 日	法律並びに文部省令により瓶原村立恭仁小学校と改称
〃 22 年 4 月	恭仁育友会設立
〃 26 年 4 月	町村合併により加茂町立恭仁小学校と改称
〃 28 年 8 月	講堂拡張
〃 29 年 6 月	学校放送施設完成
〃 30 年 4 月	2 教室増築
〃 31 年 10 月	新校歌制定
〃 34 年 10 月	給食室・手洗場新設、学校給食を開始
〃 43 年 9 月	水泳プール竣工
〃 46 年 12 月 10 日	府より特別教育活動研究の指定をうけ研究発表
〃 47 年 1 月 22 日	府教委・府学校保健委員会より安全教育協力校として表彰を受ける
〃 47 年 1 月 24 日	相楽地方学校保健委員会より安全教育の表彰を受ける
〃 47 年 4 月 23 日	京都府交通安全優良校として表彰を受ける
〃 48 年 1 月 6 日	府教委・府学校安全会より安全教育優良校として表彰を受ける
〃 49 年 5 月 5 日	創立百周年記念式典を举行
〃 52 年 8 月 9 日	交通安全子ども自転車全国大会参加（京都府代表）
〃 53 年 3 月 10 日	家庭科教室兼視聴覚教室改造
〃 53 年 9 月 16 日	総合遊具新設
〃 55 年 5 月 15 日	相楽郡交通安全協会より表彰をうける（児童会）
〃 57 年 4 月 15 日	財団法人京都府交通安全協会より表彰を受ける（児童会）
〃 62 年 1 月	府教委、日本体育学校健康センターより学校安全協力校として表彰を受ける
平成 元年 5 月 1 日	京都府より、依頼を受け、「恭仁・緑の少年団」を発足する
〃 元年 5 月 1 日	算数科の研究に取り組む（加茂町指定）（2 年間）
〃 3 年 4 月 1 日	京都府教育委員会小・中学校教育実践推進校（社会科）の指定を受ける（2 年間）
〃 3 年 5 月 26 日	恭仁緑の少年団、全国植樹祭に参加
〃 3 年 5 月 26 日	京都府より「学校緑化推進校」の表彰を受ける
〃 3 年 8 月 31 日	校舎南側窓枠アルミ製窓に取替
〃 4 年 8 月 25 日	社会科資料室新設
〃 4 年 8 月 30 日	運動場東側校門改修
〃 4 年 8 月 31 日	校舎北側窓枠アルミ製窓に取替改修

〃 4 年 9 月 30 日	社会科資料「加茂町みかの原」発行
〃 4 年 11 月 27 日	京都府教育委員会小・中学校教育実践推進校（社会科）研究発表
〃 5 年 8 月 31 日	講堂窓枠アルミ製窓に取替改修、用務員室倉庫屋根葺替
〃 5 年 11 月 6 日	創立 120 周年記念式典を挙げる
〃 8 年 4 月 1 日	京都府社会福祉協議会福祉協力校の指定を受ける（3 年間）
〃 10 年 4 月 1 日	いづみ学級を開設
〃 10 年 8 月	コンピュータを各教室に導入（16 台）
〃 11 年 8 月	家庭科室改修
〃 12 年 4 月	西校舎 2 教室を 3 教室に改造して留守家庭児童会室を設け開始される
〃 13 年 4 月	京都府教育委員会小・中学校教育実践パイロット校（総合的な学習の時間）の指定を受ける（2 年間）
〃 13 年 8 月	校舎 2 階屋根葺替
〃 14 年 8 月	ノートパソコンを 2 階和室に導入（15 台）、2 階特別教室に転落防止用手すりを設置
〃 14 年 12 月	京都府教育委員会小・中学校教育実践パイロット校（総合的な学習の時間の研究発表）
〃 15 年 11 月	創立 130 周年周年記念行事を行う（280 名集まる）
〃 19 年 2 月	東トイレの新築水洗化及び校地周囲のフェンスの新設
〃 19 年 3 月	木津川市誕生に伴い木津川市立恭仁小学校と改称
〃 22 年 3 月	いづみ学級を閉級
〃 23 年 4 月	給食が自校炊飯方式からセンター方式に変更となる
〃 25 年 11 月	創立 140 周年記念行事を行う
〃 26 年 4 月	いづみ学級を開設
〃 28 年 3 月	校舎耐震工事 1 期・2 期工事終了
〃 29 年 3 月	校舎耐震工事完了
〃 30 年 4 月	2・3 年生が複式学級となる
〃 31 年 4 月	複式学級を解消
令和 2 年 4 月	いづみ学級 2 組を開設
〃 3 年 3 月	いづみ学級 1 組を閉級
〃 3 年 4 月	京都府教育委員会「絆の作り手 育成プログラム研究校」の指定を受ける（3 年間）
〃 4 年 4 月	3・4 年生が複式学級となる
〃 5 年 4 月	4・5 年生が複式学級となる
〃 5 年 11 月	創立 150 周年記念行事を行う
〃 6 年 4 月	複式学級を解消
〃 8 年 4 月	2・3 年生が複式学級となる
	京都府小学校教育研究会（音楽科）の指定を受ける（3 年間）

2. 教育

1 学校教育目標

「生きる力をはぐくみ、幸せな未来を拓く児童の育成」
主体的に社会や他者とながら、幸せを感じる未来を切り拓いていける
児童を育てていくことを目指す。

めざす児童像

かしこく・・・（知）
やさしく・・・（徳）
たのめしく・・・（心・体）

2 学校経営方針

第2期京都府教育振興プラン及び第2次木津川市教育振興基本計画を踏まえて、以下の目標を設定する。

- (1) 小中連携を進め、義務教育9年間を見据えた確かな学力の育成
- (2) 人を思いやり多様性を尊重するなど、豊かな人間性の育成
- (3) 小規模校の利点を生かした魅力ある学校づくり
- (4) 地域を学び、郷土を大切にする心の育成
- (5) 児童を中心に据えた保護者と地域との連携と協働
- (6) 組織力やチーム力で高める教職員の資質能力・指導力

3 重点目標

- (1) 確かな学力の育成（授業改善・研究推進・家庭学習）
- (2) 豊かな心の育成（道徳教育、生徒指導、人権教育）
- (3) 小規模校の利点を生かした教育（複式学級・合同授業・地域学習）
- (4) 教職員の働き方改革の推進（連携・協働、業務改善）

4 各重点目標における観点と具体的方策

(1) 確かな学力の育成

- ア 児童が考え、話し合い、つながる授業の創造を目指した授業改善
- イ 令和10年度小教研音楽部研究発表に向けた研究の推進
- ウ 家庭と連携した学習習慣の形成

(2) 豊かな心の育成

- ア 道徳教育の充実
 - ・道徳科における授業改善（「考え、議論する道徳」の推進）
 - ・輪番道徳の実施
- イ 学級経営を基盤とした生徒指導
 - ・生徒指導の4つの視点を生かした学級経営
 - ・一人ひとりの児童との対話を重視した内面理解

ウ 人権教育の充実

- ・加茂地域小中連携による人権学習の充実と指導力向上を図る研修の充実

(3) 小規模校の利点を生かした教育

- ・多くの教員で児童を育てるシステムの確立
- ・専科教員、交換授業、一部教科担任制の実施
- ・一部の教科における合同授業の実施
- ・地域人材の活用

(4) 働き方改革の推進

ア 業務改善の推進

- ・効率のよい運営に向けた各分掌での取組

イ 適正な勤務時間の設定

- ・超過勤務45時間以内の達成

ウ 働き方に関する意識改革の推進

- ・毎月の超過勤務時間を知り、働き方の自己目標を設定

木津川市立南加茂台小学校



南加茂台小学校校歌

作詞 久保田 ツギエ
作曲 吉 中 俊 道

一

いずみの流れ清らかに
稔り豊かな加茂の里
希望の窓につどう友
強くやさしくたくましく
手を取り学ぶ丘の上
ああ 南加茂台小学校

二

歴史も古きゆかりの地
風さわやかな大空に
両手をのびしすこやかに
きたえしわざと心持ち
未来に向けてはばたこう
ああ 南加茂台小学校

郵便番号	619-1127
所在地	京都府木津川市南加茂台12丁目11番地
電 話	(0774) 76-3400
F A X	(0774) 76-8232
E-mail	nagamo-es@kizu.ed.jp
HP・URL	http://www.kizu.ed.jp/nagamodai-es/

1 沿革

昭和57年	4月 1日	京都府相楽郡加茂町立南加茂台小学校として開校	
57年	4月 6日	第1学期始業式	(児童数 158名)
57年	4月 7日	第1回入学式 新入児46名	
57年	6月 7日	図書館開館(蔵書3,500冊)	
57年	8月 1日	校旗制定	
58年	1月14日	校歌制定	
58年	3月19日	第1回卒業式	
58年	4月 7日	第2回入学式 新入児105名	(児童数 611名)
59年	4月 6日	障害児学級開設	
59年	4月19日	育友会発足	
61年	4月 8日	第5回入学式 新入児210名	(児童数1068名)
61年	8月31日	普通教室6教室増築 運動場拡張	
62年	8月31日	普通教室6教室(プレハブ)増築(一時使用)	
63年	4月 7日	第7回入学式 新入児212名	(児童数1314名)
平成 元年	3月30日	高学年用図書室増設(一時使用)	
元年	4月 7日	第8回入学式 新入児212名	(児童数1413名)
元年	8月 1日	低学年用プール増設	
2年	4月 7日	第9回入学式 新入児209名	(児童数1369名)
3年	4月 8日	第10回入学式 新入児203名	(児童数1338名)
3年	5月20日	増築教室に冷房設備設置	
4年	2月22日	創立10周年記念式典実施(記念下敷配付、記念誌発行)	
4年	4月 7日	第11回入学式 新入児155名	(児童数1231名)
5年	4月 7日	第12回入学式 新入児127名	(児童数1140名)
6年	3月31日	中庭プレハブ教室解体	
6年	4月 7日	第13回入学式 新入児113名	(児童数1031名)
7年	4月 7日	第14回入学式 新入児92名	(児童数 897名)
8年	4月 1日	ティーム・ティーチング教員配置	
8年	4月 8日	第15回入学式 新入児85名	(児童数 766名)
8年	11月14日	創立15周年記念航空写真撮影	
9年	4月 8日	第16回入学式 新入児62名	(児童数 621名)
10年	3月 5日	児童会空き缶回収で加茂きはだ園へ車椅子寄贈	
10年	4月 7日	第17回入学式 新入児76名	(児童数 537名)
11年	4月 1日	情緒障害児学級開設	
11年	4月 7日	第18回入学式 新入児51名	(児童数 459名)
11年	5月20日	情報教育室(コンピュータ室)設置	
11年	7月	学童保育室移転設置	

12年	4月	7日	第19回入学式 新入児54名	(児童数 409名)
12年	4月		京都府社会福祉協議会 福祉協力の指定を受ける(平成12～14年度)	
13年	3月14日		学校だより「さかみち」地域広報版を配付	
13年	4月	7日	第20回入学式 新入児37名	(児童数 358名)
13年1	1月17日		創立20周年記念事業(記念下敷配付、記念誌発行)	
14年	4月	9日	第21回入学式 新入児46名	(児童数 321名)
15年	4月	8日	第22回入学式 新入児35名	(児童数 292名)
16年	4月	7日	第23回入学式 新入児44名	(児童数 265名)
17年	4月	7日	第24回入学式 新入児47名	(児童数 262名)
18年	4月	7日	第25回入学式 新入児35名	(児童数 252名)
19年	3月12日		木津川市誕生に伴い、木津川市立南加茂台小学校と改称	
19年	4月	1日	特別支援学級(情緒)再開設	
19年	4月	7日	第26回入学式 新入児43名	(児童数 260名)
19年	4月		京都府小学校教育研究会生徒指導研究部研究協力校の委嘱を受ける(平成19～21年度)	
20年	4月	7日	第27回入学式 新入児43名	(児童数 260名)
21年	4月	7日	第28回入学式 新入児23名	(児童数 236名)
21年	6月26日		京都府小学校教育研究会生徒指導研究部研究大会	
22年	4月	7日	第29回入学式 新入児45名	(児童数 238名)
23年	4月	7日	第30回入学式 新入児37名	(児童数 228名)
23年1	1月6日		開校30周年学校公開、総合遊具寄贈設置、記念下敷き配付	
24年	4月	1日	当尾小学校との統合 通学車両運行	
24年	4月	9日	第31回入学式 新入児35名	(児童数 236名)
25年	4月	9日	第32回入学式 新入児35名	(児童数 228名)
26年	4月	8日	第33回入学式 新入児31名	(児童数 214名)
27年	4月	7日	第34回入学式 新入児37名	(児童数 222名)
28年	4月	7日	第35回入学式 新入児18名	(児童数 200名)
29年	4月	7日	第36回入学式 新入児30名	(児童数 182名)
30年	4月	9日	第37回入学式 新入児26名	(児童数 172名)
31年	4月	9日	第38回入学式 新入児27名	(児童数 167名)
令和 2年	4月	7日	第39回入学式 新入児21名	(児童数 159名)
3年	4月	7日	第40回入学式 新入生19名	(児童数 139名)
4年	4月	7日	第41回入学式 新入生14名	(児童数 139名)
5年	4月	7日	第42回入学式 新入生18名	(児童数 126名)
6年	4月	9日	第43回入学式 新入生15名	(児童数 113名)
7年	4月	8日	第44回入学式 新入生24名	(児童数 113名)
8年	4月	9日	第45回入学式 新入生13名	(児童数 108名)

2 教育

1 学校教育目標

～加茂地域 小中一貫教育～（令和6年度から1中3小共通）

〔教育目標〕 生きる力をはぐくみ、幸せな未来を拓く児童生徒の育成

〔目指す児童生徒像〕 かしこく（知）やさしく（徳）たのもしく（心・身体）

2 学校経営方針

《基本的な考え方》

- (1) 学習指導要領及び第2期京都府教育振興プラン並びに、木津川市教育振興基本計画や学校教育の重点を踏まえ、教育目標と学校経営方針を明確にし、社会に開かれた教育課程を編成する。
- (2) 育成すべき資質・能力を明確にし、学習活動をはじめとする教育活動全般の充実を図り、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指して、保護者や地域の信頼に応える教育活動を推進する。

《経営目標》

- (1) 算数科を中心とした課題解決型学習の授業改善を推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図ることで、認知能力及び非認知能力の育成を目指す。また、児童一人一人を尊重し、多様性を認め合う温かな学級経営を基盤として、不登校の未然防止に努める。
- (2) 家庭との連携を重視し、共に児童を育成する信頼関係の構築を図る。安全教育の充実により、各種災害に対応できる危機管理能力の育成に努める。
- (3) 地域と連携した体験的な学習活動の充実を図り、ふるさと南加茂台・当尾地域への愛着を醸成するとともに、豊かな人間性と創造性を育成し、よりよく生きるための基盤を培う。また、学校運営協議会の初年度として、「地域とともにある学校」の実現に向け、熟議を通じたビジョンの共有と連携体制の構築を推進する。
- (4) 持続可能な校内研修の充実を図り、教職員の資質・能力及び授業力の向上に努める。また、教職員一人一人の強みを生かしながら、学校教育目標の共通理解のもと協働体制を確立し、児童とともに学び高め合う組織づくりを推進する。

3 育成すべき資質・能力

第2期京都府教育振興プランの3つの具体的「はぐくみたい力」として表した、主体的に学び考える力、多様な人とつながる力、新たな価値を生み出す力の調和を大切にした教育を軸に、本校の児童一人一人に育成すべき資質・能力を以下のとおりとする。

- (1) 体験を学びに変える力【主体性・意欲・応用力】
- (2) つながりを持てる力【自己肯定感・挑戦力】
- (3) 感謝の気持ちを表現して伝える力【包容力・コミュニケーション力・展望力】

4 本年度の重点目標

- (1) 算数科を中心とした課題解決型の学習の授業改善を推進し、確かな学力の向上と充実を図る。
 - ① 個別最適な学びと協働的な学びの展開
 - ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を組織的に推進するとともに、個別最適な学びを一体的に充実させる。
 - ・ICT機器の基本的な操作の習得と1人1台端末を効果的に活用した「わかる授業」を推進する。
 - ② 学びに向かう力、人間性の涵養と生活習慣の定着
 - ・家庭と連携し、発達の段階に応じた家庭学習習慣の定着に向けた取組を充実させる。

(ア)基礎的・基本的な知識・技能の習得

- ・「木津川市授業スタンダード」に基づいた授業改善と効果的な教材の研究・研修を行う。
- ・朝学習、読書タイム、Nスタ、わくスタ、個別補充学習、AIドリル等を効果的に活用した個に応じた指導の充実を図る。
- ・児童の認知能力や非認知能力（学びに向かう力）の変容を「京都府学力学習調査～学びのパスポート～」や他の学力調査の結果分析から把握し、授業改善に生かす。

(イ)活用する力の育成

- ・算数科を中心とした課題解決型学習の授業改善を推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。
- ・話し合い活動を充実させ、発達段階に応じてペア学習・グループ学習等の活動に取り組み、主体的に伝え合おうとする力の素地を養う。
- ・学びを深める「めあて」の提示「振り返り」の充実に取り組む。

(ウ)9年間を見通した学力保障

- ・より円滑な接続を目指した3小1中の小中連携の推進を図る。
- ・授業研究や研修を通して、理解を深め課題を共有しながら泉川中学校区の更なる小中連携を推進する。

(2)児童一人一人の多様な個性や能力の伸長を図るとともに、豊かな心と創造性を育み、健康・体力の向上に努める。

①道徳教育の推進

- ・特別の教科道徳の授業を中心に、全体計画と別業等を活用し、組織的な推進体制の充実を図り、系統的な心の教育を推進する。

②生徒指導の充実

- ・心のこもった、あいさつや感謝の気持ちを伝えることのできる自他共に大切にできる児童を育成する。
- ・「いじめ調査」「お話週間」の機会を活用し、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に努める。
- ・児童一人一人を尊重し、多様性を認め合う温かな学級経営を基盤として、不登校の未然防止に努める。
- ・南加茂台小スタンダードを基に児童も教師も共通理解を図りながら安定した学校生活を構築する。
- ・生徒指導の4つの視点を活かした組織的指導の充実と児童一人一人が自己指導能力を身に付ける教育活動の実践（「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」）

③読書活動の推進

- ・読書タイムや図書館司書教諭、図書ボランティア等と連携し、読書活動の充実を図る。

④人権教育の推進

- ・同和問題学習をはじめとする人権学習の充実と指導力向上を図る教職員の人権研修の充実を図る。

⑤ 特別支援教育の推進

- ・多様な児童一人一人を大切に、個性や能力を最大限に伸ばす教育の充実のため、ユニバーサルデザインの視点からの教育環境、授業づくりを推進する。
- ・校内委員会等組織の充実と個別の指導計画等の作成と関係機関と連携した支援の充実を図り、一人一人の学びを支えるきめ細やかな教育を推進する。

⑥体力の向上

- ・発達の段階に応じた体力・運動能力の課題解決に向け、体力テスト等の状況を踏まえた体育科の授業改善を推進する。

⑦キャリア教育の推進

- ・キャリアパスポート等を活用し、自己理解学習や発達段階に応じた系統的なキャリア教育を推進する。
- ・自己の成長を振り返らせ、外部人材や地域人材を活用して、児童の知的好奇心の醸成を図り、将来への希望につなげる。

⑧情報教育の推進

- ・外部講師等を活用し、発達の段階に応じた系統的・組織的な情報教育（プログラミング教育、デジタル・シティズンシップ教育）を推進する。
- ・あらゆる教育活動の中で、1人1台端末をはじめとするICT機器の効果的な活用を意識し、情報教育の系統的・計画的な指導を推進する。

(3) 地域や保護者との連携を深め、信頼される特色ある学校づくりを推進する。

①学校の組織力と教職員の資質向上

- ・教職員一人一人の強みを生かしながら、学校教育目標の共通理解のもと協働体制を確立し、児童とともに学び高め合う組織づくりを推進する。
- ・持続可能な校内研修の充実を図り、教職員の資質・能力及び授業力の向上に努める。
- ・教職員の業務改善をはじめとする働き方改革を推進し、子どもと向き合える環境づくりに努める。

②社会総がかりによる子育て支援

- ・学校運営協議会の初年度として、「地域とともにある学校」の実現に向け、熟議を通じたビジョンの共有と連携体制の構築を推進する。
- ・家庭との連携を重視し、共に児童を育成する信頼関係の構築を図る。

③自然・歴史についての学習の充実

- ・地域と連携した体験的な学習活動の充実を図り、ふるさと南加茂台・当尾地域への愛着を醸成するとともに、豊かな人間性と創造性を育成し、よりよく生きるための基盤を培う。

④地域資源の活用

- ・ゲストティーチャーや関係機関の出前授業等で地域の方と関わる機会を計画的に実施し、地域資源を活用した教育活動の充実を図る。

5 その他

(1) 持続可能なPTA活動

- ・学校運営協議会と連携、協力しながら、PTAの組織及び活動の見直し等による活性化及び時代に合った取組の精選を行う。

木津川市立上狛小学校



上狛小学校 校歌

作詞 酒井 雨虹
作曲 杉本 秀治

一
見よ 大川の 水の面は

円かなる 月影やどし

天地のわけを さながらに

小さき目にも 教うなり

おお 狛の河原のなでしこと

咲けよ朝夕 我等学び子

二

聞け 城山の 松風は

学び舎の 窓の辺訪いて

尊きさとし さながらに

小さき耳に ささやけり

おお 狛の河原のなでしこと

学べたゆまず 我等学び子

郵便番号 619-0204
所在地 京都府木津川市山城町上狛学校1番地
電話 (0774) 86-2002
FAX (0774) 86-5500
E-mail kamikoma-es@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kamikoma-es/>

1 沿革

- 明治 6年 上狛小学校創立（4月13日）
20年 上狛尋常小学校発足
25年 上狛高等小学校が併設
32年 組合立上狛尋常高等小学校と改称
- 大正 7年 実業補習学校附設
- 昭和 9年 校歌制定
16年 組合立上狛国民学校と改称
22年 上狛町、高麗村組合立上狛小学校と改称
23年 育友会発足
31年 町村合併により山城町立上狛小学校と改称
40年 育友会文部大臣表彰受賞、プール完成
41年 鉄筋2階建て北校舎完成
42年 給食センター完成 給食開始
中庭に庭園と池が完成
45年 中庭に飼育小屋が完成
46年 運動場拡張
49年 山城地方給食指導研究会開催 学校給食優良校として文部大臣表彰受賞
50年 学校優良校として、京都府教育委員会より表彰
52年 日本水泳連盟より学童水泳優良校受賞
53年 鉄筋3階南校舎改築完成、運動場拡張
54年 校舎前庭園完成
57年 体育館改築完成
59年 山城地方社会科教育研究発表会開催
63年 第43回国民体育大会京都国体（成年女子ソフトボール会場）
- 平成 2年 京都府教育委員会・山城町教育委員会教育実践推進校（算数科）
＜指定2年 平成3年発表＞
3年 第36回「才能開発実践教育賞」受賞
5年 京都府社会福祉協力校指定（3年間）
人権擁護ポスターコンクール学校賞受賞
120周年記念講話会
6年 京都府小学校教育研究会保健安全研究会
8年 京都府教育委員会教育実践パイロット校・山城町教育委員会指定（図画工作科）
＜指定2年 平成9年発表＞
11年 コンピュータ教室整備 コンピュータ設置
13年 京都府学校安全協力校として京都府教育委員会より表彰
門扉・フェンスの設置
14年 配膳室設置、給食センター改築（椿井地域へ移転）
15年 創立130周年記念植樹
16年 京都府教育委員会環境教育推進校「京のエコ・スクール」
山城町教育委員会指定（指定2年 平成17年発表）
18年 特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」研究推進校）
「なでしこ安全推進会議」発足
19年 3町合併により木津川市立上狛小学校と改称（3月12日）
特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」研究推進校継続）

京都府交通安全協会より交通安全表彰受賞(5月)

「みんなで読もう1000万冊読書キャンペーン」京都新聞社賞受賞

- 20年 「やましろ地域学習推進事業」平成20年度やましろ地域学習推進研究協力校
- 21年 「やましろ地域学習推進事業」平成21年度やましろ地域学習推進研究協力校
コンピュータ教室整備(機器交換)
- 22年 文部科学省委託「栄養教諭を中核とした食育推進事業」実践中心校
南校舎耐震補強工事完了
- 23年 文部科学省委託「栄養教諭を中核とした食育推進事業」本発表
南校舎屋上防水工事完了
- 24年 南校舎南側花壇新設
- 25年 理科・図工室を南校舎に移転
- 27年 教育用・校務用コンピュータ、デジタル教科書整備
洋式トイレ設置、校門時計更新
- 28年 北館完成(図工室・図工準備室の設置)
児童クラブの移転・新築
- 29年 電子黒板全学級設置完了
- 30年 普通教室エアコン設置完了
- 令和 元年 放課後なでしこひろば開設
- 2年 コミュニティ・スクール準備・開設
- 3年 国立教育政策研究所指定 教育課程実践検証協力校事業
「E-Assessmentに関する研究(A枠)・国語」協力校
日本PTA全国協議会会長表彰 受賞
- 4年 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 5年 創立150周年記念行事開催・記念誌発刊
京都府PTA協議会 表彰
京都・山城人権啓発活動地域ネットワーク協議会「人権の花」運動の推進
木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 6年 創立150周年記念植樹
木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
山城地方PTA連絡協議会 表彰
- 7年 文部科学省指定「学校保健統計調査(基幹統計調査)」実施校
木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
第47回全国小・中学校PTA広報誌コンクール 奨励賞
- 8年 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校

2 教育

(1) 学校教育目標

「つながりを大切に 主体的に学ぶ 未来を力強く生きる子の育成」

めざす児童像

なかまを大切にする子
ともに学び合う子
あきらめずに挑戦する子

(2) 学校経営方針

府学校教育の重点・市教育振興基本計画を踏まえ、児童がそれぞれの夢の実現に向けて挑戦し、豊かで幸せな生活を送るために必要な

- ア 一人一人の可能性を伸ばし、多様な幸せを実現する力をはぐくむ
 - ・学習習慣や生活習慣を確立し、児童が学びに向かう土壌を整え、基礎・基本を徹底することで学力の充実と向上を図る。
- イ 一人一人が輝き、持続可能な社会の一員としての基盤をはぐくむ
 - ・人権教育を基盤として人とのつながりを重視し、集団活動や体験的学習を通して、互いに認め合い高まり合う教育活動を推進する。
 - ・さらに、たくましく生きるための健康や体力の向上につながる教育活動を推進する。
- ウ 地域の力を結集し、地域社会全体で守りはぐくむ
 - ・コミュニティ・スクールとして、地域総がかりで子どもを育てる基盤を固める。
 - ・学校と家庭・地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めるために目標やビジョンを共有し、つながりを大切にした教育を創造していく。

(3) 本年度の重点目標

- ア 「個別最適な学び」と「協働的な学び」
 - ・児童一人一人が自分に応じた学習活動や学習課題に取り組むことができる授業を創造する。
 - ・児童が自分の考えを深め、他者との関わりの中で課題を見出し、協働して解決していく力を育成する。
 - ・児童の実態に応じてアナログとデジタルを最適に組み合わせるなど、多様な学びの手段を適切に取り入れた授業を推進する。
 - ・「幼稚園・保育所・認定こども園」と「中学校」との円滑な接続を目指した連携を進める。
- イ 多様性を尊重し合う豊かな人間性
 - ・道徳教育・人権教育・生徒指導を充実し、多様な価値を認めた上で自ら考え、他者と対話し協働しながら、よりよく生きようとする心情を育てる。
 - ・通学班や委員会活動、異年齢集団（なでしこ班）活動等を通して、望ましい集団づくりの推進を図り、仲間を大切にする気持ち、主体性や協調性を養う。
 - ・あいさつを通して、良い人間関係を構築させる。
- ウ 地域を学び、家庭・地域とともに生きる
 - ・変化の激しい社会の中で様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、自ら行動を起こす力を育成する。
 - ・郷土の歴史や地理について理解を深めるために地域の人に学び、ふれあう機会を大切にして「ふるさと上粕」を誇りに思う心をはぐくみ、支えてくれている人々に感謝する気持ちを育てる。
 - ・コミュニティ・スクールとして、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で児童の成長を支える体制づくりを進める。

(4) 指導の重点

ア 「個別最適な学び」と「協働的な学び」

(ア) 個別最適な学びと協働的な学びの展開

- ・ 1人1台端末等のICT機器の効果的な活用を進め、児童一人一人の多様な学びにつなげる。

(イ) 学びに向かう力、人間性等の涵養と学習習慣の定着

- ・ 児童一人一人が自己を調整する力を意識した授業づくりを通して、主体的に学習に向かう態度を身に付ける。また、家庭との連携のもと、小学校低学年から学習習慣を定着させる。

(ウ) 基礎的・基本的な知識・技能の習得

- ・ 児童一人一人の習熟の程度に応じた学習や個別の課題に合った補充学習等に取り組み、わかる授業を創造する。

(エ) 活用する力の育成

- ・ 伝え合う学習活動として、自分で考察し、まとめ、発表する活動を積極的に取り入れた授業を行い、身に付けた知識・技能を活用する力を養う。

イ 多様性を尊重し合う豊かな人間性

(ア) 道徳教育の推進

- ・ 児童の心に響く魅力的な教材を活用しながら道徳的価値の自覚を深め、道徳的实践力を育成する。
- ・ 授業公開等を通して、学校における道徳教育に対する保護者の理解を一層深める。

(イ) 生徒指導の充実

- ・ 指導の方向、内容を明確にした全体計画を作成し、学校としての協力体制・指導体制を確立するとともに、指導の在り方について保護者との共通理解を図り、関係機関と連携を深める。

(ウ) 読書活動の推進

- ・ 積極的な読書活動の取組を通して豊かな心をはぐくみ、個々の児童の個性、能力の伸長に努める。
- ・ 家庭と連携して読書の取組をさらに進める。

(エ) 人権教育の推進

- ・ 児童の理解や認識の実態を的確に把握しながら、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解決の視点を明確にした学習を行う。
- ・ さまざまな人権問題の正しい理解と解決のために行動できる技能や能力の育成を図る。

(オ) 特別支援教育の推進

- ・ 特別支援教育について全教職員が理解を深めるとともに、個々の障がいの状態、発達段階及び特性等に応じた適切な支援を行う。

ウ 健やかな体の成長

(ア) 食育の推進

- ・ 教育活動全体を通じた食育の推進を図り、食や健康への関心を高める。

(イ) 体力の向上

- ・ 体力テストの結果をもとに個に応じた体力・運動能力の向上を図る。

(ウ) 健康の保持増進

- ・ 基本的な生活習慣の確立を目指して、児童の実態把握に努め、家庭と連携した取組を推進し、自ら健康な生活を営むことができる望ましい行動への変容を図り、児童の実態に即した保健管理と保健教育を行う。

(エ) 感染症対策の充実

- ・ 感染症拡大防止のため、正しい基本的な生活習慣を身に付けることができる児童を育成する。
- ・ 感染症が要因となる人権上の差別や偏見のない学校づくりを進める。

エ 持続可能な社会を築く生きる力

(ア) キャリア教育の推進

- ・ 望ましい職業観や勤労観をもち、児童が自らの進路を主体的に切り拓き、自己実現につなげることができるように、自己理解学習やライフデザインを考える学習を進める。

(イ) 情報教育の推進

- ・ 児童の発達段階に応じた情報活用能力の育成を図り、「主体的・対話的で深い学び」をめざす。

- ・身の回りにあふれる情報の中から、多面的・多角的な視点をもって正しいものを選び取る情報活用能力及びルールやマナー等の情報モラルを育成する。
- (ウ) グローバル化に対応できる人材の育成
 - ・世界に通用するグローバル人材を育成するために、異文化を理解・尊重する資質やコミュニケーション能力を育成する。
- (エ) 環境教育の推進
 - ・持続可能な社会の担い手として、生命や自然を尊重する精神を養うとともに、環境保全やよりよい環境の創造のために SDGs 教育を推進する。
- (オ) 持続可能な開発のための教育（ESD）の推進
 - ・持続可能な社会を実現するために必要な資質能力を培うための教育を推進する。
- (カ) 防災教育の充実
 - ・危機管理マニュアル等の整備及び児童の発達段階に応じた危機管理能力の育成と計画的な安全教育の実施に努める。
 - ・教職員の防犯意識及び危機管理能力を向上させるための研修を行い、避難訓練や防犯・防災学習の充実を図る。
 - ・地域、家庭と学校が連携した防災訓練を実施することにより、学校だけではなく、地域全体としての防犯・防災に対する意識を高め、防犯・防災学習を充実させる。

オ 学びを支える教育環境の整備

- (ア) 困難な環境にある子どもへの支援の充実
 - ・児童個々の実態を把握し、関係機関との連携の中で必要な指導・支援を行うことにより、一人一人の社会的自立を図ることのできる能力の育成に努める。
- (イ) 学校の組織力と教職員の資質向上
 - ・校長のリーダーシップのもと、組織を機能的に運営するために組織マネジメント能力の向上を図り、教職員がより協働できる体制づくりをする。
 - ・コンプライアンス意識の向上のための指導及び研修を計画的に実施し、服務規律の徹底を図る。
- (ウ) 魅力ある学校づくり
 - ・学校アンケートや教職員による学校評価項目の重点化と評価・結果に基づいた継続的な改善を図る。
- (エ) 安心・安全なよりよい教育環境の整備
 - ・児童等の安全を確保するために教職員が的確に判断し、円滑に対応できるよう、危機管理マニュアルを充実させ、危機管理体制をさらに整備する。

カ 地域を学び、家庭・地域とともに生きる

- (ア) 社会総がかりによる子育て支援
 - ・学校、家庭、地域における情報交換や連携を活発にし、社会総がかりで児童の健全にかかわる地域社会づくりを推進する。
 - ・様々な分野に優れた地域の人材を発掘し、教育活動等に活かす人材やボランティアの育成を推進する。
- (イ) 自然・歴史についての学習の充実
 - ・各教科、特別活動、総合的な学習の時間等の学習を通して、児童が郷土の自然や伝統、文化について学ぶ地域学習を充実する。
 - ・児童の豊かな感性をはぐくむ文化・芸術の継承、発展をめざす活動を進める。
- (ウ) 地域資源の活用
 - ・地域の良さを生かし、家庭や地域、関係諸機関、近隣の学校・園と協力・連携を図り、地域に根差した信頼される特色ある学校づくりを進める。
 - ・コミュニティ・スクールとして、学校公開を積極的に行うとともに、関係機関や地域の人々と積極的に関わり、連携を密にした取組を推進する。（学校・家庭・地域が一体となった防災訓練を実施する。）
- (エ) 文化財の活用
 - ・歴史文化をわかりやすく伝え、多様な主体がまちづくりに携わる環境整備を進める。

木津川市立棚倉小学校



棚倉小学校校歌

作詞 中谷志津枝
作曲 杉本 秀治

一、 大空めざし 伸びてゆく

光明山の わか竹に

まけず伸びよと 日はまねく

ああすくすくと 立ちあがる

光の子なり 我等みな

二、 清き流れを のぼりゆく

泉の川の 若あゆに

まけず進めと 風はよぶ

ああひとすじに 学びゆく

励みの子なり 我等みな

三、 涌き出の森の 大杉が

語る栄えの その歴史

うけつぎゆけと 枝は鳴る

ああ喜びに 勇み立つ

望みの子なり 我等みな

郵便番号 619-0201
所在地 京都府木津川市山城町綺田局塚14番地
電話 (0774) 86-2513
FAX (0774) 86-5698
E-mail tanakura-es@kizu.ne.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/tanakura-es/>

1. 沿革

- 明治 5 年 綾杉に綺田校創立（5 月 25 日）
- 21 年 綺田尋常小学校発足
- 25 年 棚倉高等小学校を綺田尋常小学校に設置
- 32 年 棚倉高等小学校を廃して綺田尋常小学校に併置し、校名を綺田尋常高等小学校と改称
- 大正 3 年 大字綺田小字局塚 14 に移転改築
- 綺田尋常高等小学校を棚倉尋常高等小学校と改称 実業補習学校附設
- 昭和 11 年 奉安殿並びに校舎の落成式举行
- 16 年 棚倉国民学校と改称
- 22 年 棚倉村立棚倉小学校と改称
- 23 年 棚倉小学校校歌制定
- 28 年 講堂竣工式举行
- 31 年 上粕村、高麗村、棚倉村が合併し山城町となる。校名を山城町立棚倉小学校と改称
- 38 年 新校舎改築開始（普通教室 11、特別教室 5、管理室 3）
- 40 年 新校舎落成竣工 プール竣工
- 42 年 学校安全優良校として日本学校安全会より表彰 完全給食開始
- 43 年 障害児学級開設
- 44 年 緑地帯整備完工
- 45 年 交通教室整備（模擬道路、自転車練習場設置）
- 47 年 昭和 46 年度学校安全優良校表彰 昭和 47 年度学校安全文部大臣表彰
創立 100 周年記念行事実施 昭和 47 年度学校安全教育研究発表会
- 48 年 昭和 47 年度全日本交通安全協会会長表彰、昭和 48 年度学校安全教育研究発表会
- 49 年 障害児学級閉鎖
- 50 年 児童増加に伴い、3 教室増築並びに体育倉庫増築
- 53 年 運動場一部拡張 理科教室改装
- 54 年 文部省、府教委小学校教育課程図画工作科研究指定（～昭和 55 年度）
- 55 年 小学校教育課程図画工作科研究発表会
- 58 年 新校舎（特別教室）竣工（3 教室、便所、児童昇降口）
校地北西部の水田を買収し、大運動場完成（12,911 平方メートル）
- 60 年 運動場照明施設完成 体育館竣工（726 平方メートル）
- 61 年 学校安全教育表彰（学校安全努力校） 第 43 回国民体育大会 京都国体開催

平成	元年	府小研体育研究大会	校舎大規模改造完成
	3年	学校安全教育長表彰（学校安全努力校）	
	5年	文部省・京都府教育委員会及び山城町教育委員会教育実践推進校体力づくり研究発表会	
	6年	学校安全努力校表彰	全国学校体育研究校表彰
	8年	障害児学級開設	福祉協力校指定（3年間） 保健室・給食配膳室改修 公共下水道供用開始
	9年	放送室・放送設備改修	
	11年	コンピュータールーム開設	ふるさとふれあい推進校発表
	14年	金銭教育研究発表会・金銭教育シンポジウム開催（2月8日）	
	16年	全日本学校関係緑化コンクール	学校林活動の部入選（国土緑化推進機構理事長賞） 「学力向上フロンティアスクール」「京都夢・未来校」研究発表会
	19年	加茂町、木津町、山城町が合併し木津川市となる。木津川市立棚倉小学校と改称	放送設備改修 京の子ども夢・未来校「やましろ未来っ子」「学力向上プログラム開発校」研究発表会
	21年	コンピュータールーム情報機器更新	
	22年	特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」）研究発表	栄養教諭を中核とした食育推進事業（2年間）
	24年	「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin京都参加	学校支援地域本部事業発足 第53回交通安全国民中央大会交通安全栄誉賞表彰
	25年	木津川市特色ある学校づくり推進事業指定（～令和元年度）	
	26年	プール改修工事	
	27年	棚倉小学校校舎改築工事始まる	
	28年	新校舎完成	
	29年	竣工式举行	京都府小学校教育研究会道德教育研究発表
令和	3年	山城教育局 山城地方学校力向上トライアル校（～令和7年度）	
	4年	創立150周年記念行事实施	
	5年	京都府学校教育の情報化にかかる研究協力校	京都府若手教職員学び合いのコミュニティ育成支援事業
	6年	選挙啓発事業に係る取組に対する感謝状受賞	
	7年	木津川市特色ある学校づくり推進事業指定（令和3年度より継続中）	

2 教育

(1) 教育目標

「自分のよさを生かしながら、自立できる子どもの育成」

あらゆる他者を認め、多様な人と協働し、様々な社会変化を乗り越えられる「たなっ子」を地域社会全体で育成する。そして「たなっ子」一人一人が自立した幸福な生涯を実現できる資質・能力をはぐくむ。

(2) 目指す児童像

- ◇学び
- ◇つながり
- ◇きたえあう

(3) 学校経営方針

「学習指導要領」「京都府教育振興プラン」「第2次木津川市教育振興基本計画」に基づき、校長のリーダーシップのもとで、日々の教育活動の充実を図る。

- ア 児童に基礎的・基本的な知識や技能を習得させることを目指し、「わかる授業の創造」を進める。
- イ 自他を尊重し互いに認め合える人間性を涵養する教育活動を行う。
- ウ 想定外や危険な事態に際し、自ら安全を確保するための意識・能力を向上させる。
- エ 子どもを中心に学校・保護者・地域と連携した持続可能な社会環境づくりを推進する。

(4) 重点目標

- ア 学ぶことに楽しさを味わわせ、学びに向かう力の育成を図る。
- イ 授業改善及び家庭学習の取り組み方を見直し、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。
- ウ すべての子どもの育成を図るため、個に応じた支援や指導を計画的・組織的に取り組む。
- エ 社会の一員として道徳性や規範意識の醸成と人権尊重の意識を高める。
- オ 自分の命は自分で守ることへの意識づけを図り、行動力を高める。
- カ 家庭や地域と連携し「早寝、早起き、朝ごはん」等、望ましい生活習慣の確立を図る。

- キ 家庭環境が困難な児童へ関係機関と連携し、組織的に支援する。
- ク 学校教育目標の実現に向けて、めざす児童像を家庭・地域と共有し、すべての教育活動を推進する。
- ケ ふるさと棚倉の地域資源や人材を活かし、郷土への理解と思いを深める。

(5) 重点研究テーマ

「基礎・基本を身に付け、自ら考え、学び合う児童の育成」

木津川市立木津中学校



木津中学校校歌

作詞 石山 修
作曲 吉中 俊道

一 東の空にかぎろう 朝日子の
光をあびて この学園に
つどう若人 いのちは躍動る

二 木津川はその名清しき 泉川
永久に変わらぬ 流れこそ
木津中健児の たゆまぬ姿

三 青丹よし奈良のみやびを 近代の
文化に生かす 力こそ
われらの胸に たぎる血潮ぞ

四 天と地の寄り合うきわみに 万象の
生成力あり わが校の
集いに平和の 力こもれり

郵便番号 619-0222
所在地 京都府木津川市相楽高下4番地8
電話 0774-72-0007
FAX 0774-72-0094
E-mail kizu-jhs@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kizu-jhs/>

1. 沿革

昭和

22年	5月3日	町立木津小学校南校舎を借用して開校式举行
23年	3月21日	木津南垣外に新校舎上棟式举行
	10月19日	新校舎へ移転
25年	6月18日	講堂竣工式举行
26年	4月8日	町村合併に伴い相楽村出身生徒を編入
27年	6月5日	相楽村との合併により現在地に本館竣工式举行
	6月30日	新校舎へ移転
28年	5月27日	南校舎を旧地から移転し、竣工式举行
	10月30日	生産教育研究発表会実施
29年	4月23日	講堂を旧中学校から移転、竣工式举行
30年	7月30日	プール竣工
	11月8日	文部省指定産業教育研究発表会実施
31年	3月	木津小学校から2教室移築
	12月11日	同和教育研究発表会実施
32年	9月1日	優良図書館表彰受賞
	11月21日	学校図書館研究発表会実施
34年	6月1日	バックネット新設
	11月25日	道德教育研究発表会実施
35年	5月1日	障害児学級開設
36年	2月24日	障害児教育研究発表会実施
	3月20日	進路指導研究発表会実施
	9月16日	第二室戸台風のため校舎一部倒壊
	11月21日	府教委指定「学級活動における進路指導」研究発表会実施
37年	6月29日	体育館竣工
	11月10日	特別教育活動研究発表会実施
39年	12月30日	鉄筋校舎竣工
40年	2月2日	文部省指定道德教育研究発表会実施
	3月17日	学校安全努力校として表彰を受賞
42年	11月6日	技術科研究発表会実施
43年	4月15日	学校給食開始
44年	2月24日	学校経営研究発表会実施
45年	4月28日	本館新築竣工
46年	2月25日	生徒指導研究（文部省推進校）発表会実施
	11月25日	生徒指導研究（文部省推進校）報告会実施
47年	11月13日	生徒指導研究（文部省推進校）発表会実施
50年	2月25日	自由研究「学級活動」発表
52年	1月21日	文部省指定道德教育研究（2年継続）発表実施
53年	11月2日	郡中学校自主研究発表「集団を高めるために」
54年	3月2日	鉄筋4階建校舎竣工
55年	3月20日	鉄筋4階建校舎増築竣工
57年	3月20日	クラブボックス完成
	12月10日	運動場防球ネット設置
59年	3月30日	運動場夜間照明設置
61年	10月15日	体育館大規模改修工事完了
62年	5月25日	校長室改装
63年	8月30日	南北校舎大規模改修工事完了

平成

2年	11月6日	郡中学校自主研究発表「学習意欲を高める指導の充実」
3年	8月30日	職員室床面前面改修完了
	10月31日	プール新設竣工
	11月25日	自動車駐車場の新設
	12月10日	人権作文コンテスト感謝状受賞法務省局長賞
	12月25日	体育館ギャラリー手すり設置
4年	3月10日	武道場の新設竣工

	3月31日	バックネット新設竣工
	9月30日	コンピュータ教室完成
5年	8月31日	グラウンド大規模改修工事完了
6年	8月25日	職員室空調設備設置工事完了
7年	8月30日	放送設備全面改修
8年	1月21日	武道場進入通路舗装
	8月9日	文部省指定スクールカウンセラー活用調査研究委託事業
9年	4月5日	体育館東入口屋根完成
	5月3日	創立50周年記念式典実施
10年	4月5日	自転車置場増設
	11月22日	「さわやか賞」受賞
12年	4月1日	情緒障害児学級設置
	8月	下水道・室外トイレ改修
13年	4月1日	「児童生徒等歯・口の健康づくり推進事業」研究指定
14年	11月	受水槽改修
15年	7月30日	京都府中学校総合体育大会ソフトテニスの部優勝
	10月18日	山城地方中学校駅伝競走大会 男子優勝
	12月	コンピュータ室備品新規購入及び、光ファイバー、イントラネット整備
16年	2月	「児童生徒等歯・口の健康づくり推進事業」発表（於・東京）
	4月	スクールカウンセラー配置
		文部科学省指定「キャリア教育推進地域指定事業」（3ヶ年）
18年	4月	心の居場所相談員配置
		文部科学省指定「人権教育推進地域事業」（3ヶ年）
19年	3月12日	木津川市誕生に伴い、木津川市立木津中学校と改称
	10月20日	山城地方中学校駅伝競走大会 男子優勝（第29回近畿中学校駅伝競走大会出場）
	11月10日	「キャリア教育」文部科学大臣表彰受賞
	12月21日	木津中学校創立60周年を迎える（記念品配布）
20年	7月30日	京都府中学校総合体育大会サッカーの部優勝（近畿大会出場）
21年	1月20日	平成18・19・20年度文部科学省指定 人権教育総合推進地域事業「人権教育研究大会」
	3月	クラブボックス裏に自転車置き場増設
	7月30日	京都府中学校総合体育大会サッカーの部2年連続優勝（近畿大会出場）
	8月22日	全国中学校体育大会陸上競技選手権大会出場（男子:110mH、女子:100mH）
22年	7月30日	京都府中学校総合体育大会サッカーの3年連続優勝（近畿大会出場）
23年	4月1日	梅美台及び州見台地域の生徒増加に伴い木津川市立木津南中学校の開校により分離
23年	8月20日	全国中学校体育大会陸上競技選手権大会出場（男子100m、男子4×100R）
26年	3月12日	新校舎棟・体育館落成式
27年	3月27日	新グラウンド完成
28年	4月1日	京都府教育委員会指定「法やルールに関する教育」研究指定校
29年	4月1日	京都府教育委員会指定「法やルールに関する教育」研究指定校
令和		
	2年10月18日	全国中学校陸上競技選手権大会出場（男子:400m、女子:100mH）
	4年8月18日	全日本中学校陸上競技選手権大会出場（女子:200m）
	5年11月14日	山城教育実践フォーラム 授業公開
	6年8月6日	近畿中学校陸上競技大会 女子200m 優勝
	6年8月19日	全日本中学校陸上競技選手権大会出場（女子:100mH）
	6年10月18日	第55回U16陸上競技大会出場（女子:150m）
	6年10月20日	第55回U16陸上競技大会 男子ジャベリックスロー4位
	7年4月21日	通級指導教室開設
	7年8月18日	全日本中学校陸上競技選手権大会 男子：走り高跳び7位 男子共通4種 女子100m出場
	7年10月19日	第56回U16陸上競技大会 男子走り高跳び4位
8年	3月	体育館LED照明、冷暖房設置

2. 教育

(1) 学校教育目標

「心豊かでたくましく生きる生徒の育成」

(2) めざす生徒像

「強い人、考える人、あたたかい人」

- ・豊かな心と、たくましい身体を持った生徒
- ・自らの考えで、進んで実行する生徒
- ・他と協力し、助け合い励まし合う生徒

(3) 本年度の研究主題

「主体的に学習に取り組み、他者と協働しながら課題を解決していける生徒の育成」

(4) 教育目標を具現化するための努力点

ア 学力充実

- 基礎、基本の徹底による学力の充実
- 家庭学習の指導と家庭学習習慣の定着
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進

イ 多様性を尊重しあう豊かな人間性の育成

- 人権教育の計画的実施
- 発達支持的生徒指導の推進
- 生徒のコミュニケーション能力の向上

ウ 生徒指導の充実

- いじめ防止の徹底（早期発見・早期対応）
- 不登校生徒への具体的対応の充実（早期発見・早期対応）

エ ICT の活用

- タブレットの活用による個別最適化学習の推進
- 授業における ICT の活用の推進
- 校務における ICT の効果的活用の推進

オ 信頼ある学校

- 生徒一人一人が活躍できる場面を意識し、自己有用感を育てる
- 生徒一人一人のニーズに応じた教育、進路指導の充実
- 適切な学校評価の実施と公開

木津川市立木津第二中学校



木津第二中学校校歌

作詞 中村吉三
作曲 尾上昭典

一 はるかなる 歴史の歩み 礎に

清き流れの 木津川を

見渡す丘の 学び舎に

英知を磨く 若人が

手を取り進む 未来には

清新の意気 たかまりて

あゝ 我が 木津第二中学校

二 友愛の 心豊かに 育くみて

四周の山の ふところ

礼節守る 学び舎に

身体を鍛え 若人が

手を取り進む 未来には

躍進の音 たからかに

あゝ 我が 木津第二中学校

郵便番号 619-0224

所在地 京都府木津川市兜台6丁目1番地

電話 (0774) 72-8734

FAX (0774) 72-8736

E-mail kizu2-jhs@kizu.ed.jp

HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kizu2-jhs/>

I 沿革

昭和61年	4月 1日	木津町立木津第二中学校開校（生徒数17名）
62年	3月13日	第1回卒業証書授与式举行（卒業生5名）
63年11月	30日	京都府教育委員会・木津町教育委員会指定教育実践研究発表社会科
平成 元年	3月 9日	校歌発表会
	6月23日	アメリカ政府派遣高校生大使来校 交流会実施
	12月 4日	相楽郡中学校教育研究会指定研究発表 テーマ「国際理解教育」奈良県立高校留学生17名招校
4年	3月 7日	P T A設立総会（P T A発足）
5年	3月25日	新校舎竣工（普通教室9、図書室、第2音楽室、コンピュータ教室各1）
	4月 1日	府教育委員会教育実践推進校「指導方法の改善」研究指定
6年	4月 1日	府教育委員会より平成6・7・8年度国際理解教育推進モデル校に指定される。
	12月 1日	指導方法の改善「数学科におけるI T」研究発表会
7年10月	22日	開校10周年記念式典举行
8年	2月23日	全国教育美術展学校表彰受賞
9年11月	30日	京都府教育委員会より、『さわやか賞』受賞
11年	4月 8日	平成11・12年度京都府統計教育研究指定校指定
12年	4月 1日	障害児学級新設
13年	3月10日	第6回全国環境ポスターコンクール学校賞受賞
	4月 1日	スクールカウンセラー活用事業開始
14年12月	19日	中学生税に関する作文コンクール学校賞受賞
15年	4月 1日	英語・数学での少人数指導の開始、情緒障害児学級の設置
	4月14日	木津町公園都市緑化協会によるビオトープ設置と植樹事業
16年	8月 2日	校内LAN整備
	9月	普通教室扇風機設置
17年11月	25日	開校20周年記念式典
19年	3月12日	木津川市誕生に伴い、木津川市立木津第二中学校と改称
	4月1日～	平成19年度「キャリア教育実践プロジェクト」（文部科学省地域指定）の「キャリア・スタート・ウィーク」実施校として指定を受ける。 （8.23～28 職場体験学習実施2年）
	10月11日	内蒙古自治区教育訪問団来校 駐輪場設置
20年	4月 9日	校区再編成に伴い、木津川台小学校区の生徒が入学する。
	11月21日	相楽地方中学校教育研究会指定発表「キャリア教育」
	11月22日	「キャリア教育」文部科学大臣表彰
23年	3月	駐輪場増設
24年	4月	同志社大学との連携事業（「プロデュース能力」養成プログラムの開発）
	5月	プール改装
25年	4月	木津川市立小中学校情報教育研究指定
	10月	「木津川市地域で支える学校教育推進事業」木津第二中学校区学校支援本部設置
26年	2月	木津川市立小中学校情報教育研究指定公開授業
	5月	木津川市特色ある学校づくり推進校
27年	4月	開校30周年
	5月	木津川市特色ある学校づくり推進校
	10月	開校30周年式典
28年	4月	特別支援教育充実に係る研究実践校
	5月	木津川市特色ある学校づくり推進校
29年	4月	N I E実践指定校
30年	4月	N I E実践指定校
令和 6年	4月	令和6年度特別支援教育部プロジェクト研究指定
7・8年	5月	木津川市特色ある学校づくり推進校

Ⅱ 教育

令和8年度 学校教育目標

1 めざす生徒像(不変の目的)

『友愛』 他人に思いやりを持ち、ともに高めあう生徒 【社会の創り手となる生徒の育成】

『礼節』 礼儀と節度を守る生徒 【他者を価値のある存在として尊重できる生徒の育成】

『協力』 力を合わせ、よい校風をつくる生徒 【多様な人々と協働できる生徒の育成】

2 学校教育目標(長期経営目標)

生徒一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓く力を育み、社会の創り手となる生徒を育成する。

3 学校経営方針(中期経営目標)

(1)「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による、基盤的学力と探究心の育成

～基礎的読解力・数学的思考力・情報活用能力を土台とし、社会で生き抜く力を養う～

(2) 自己有用感を高め、多様な他者と共生・協働できる学校風土の醸成

～認め合い、高め合う集団づくりを通した、豊かな人間性と社会性を育成する～

4 本年度の指導の重点(短期経営目標)

(1) 授業改善と学力保障:主体的・対話的で深い学びの実現

・「わかった」「次も頑張る」を実感させる授業を創造する。

・全教科において「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を推進し、学びの質を高める振り返りの活動を充実させる。

・指導と評価の一体化による個別の学習支援の最適化を図る。

・一人一人に寄り添った継続的な指導を通じ、評価『C』の解消等の学習課題の解決と評価の向上を目指す、組織的な支援体制を確立する。

・挑戦を尊び、対話を重んじ、誰一人取り残さない学びを創る。

(2) 豊かな人間性と社会性の育成:自己有用感と他者尊重の醸成

・生徒指導の実践上の視点、「自己存在感の受容」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」を全教育活動の基盤とし、生徒の資質・能力を多面的に育む。

・ユニバーサルデザイン(UD)視点による学びのユニバーサル化を図る。

・情報の視覚化(番組表の活用等)や構造化を徹底し、すべての生徒が安心して参加できる授業環境を構築する。

・すべての生徒の個性を伸ばす「発達支持的生徒指導」を活かしたアプローチを展開する。

・振り返りの共有を通じて他者理解と集団の質的向上を図る。

(3) 安心・安全な教育環境と組織力の向上:「包容力」のある学校づくり

・地域資源・人材を積極的に活用し、社会とつながる学びを展開する。

・保護者の願いに寄り添い、生徒の成長を共に見守る強固なパートナーシップを確立する。

・「気づく・伸ばす・展望する・挑戦する・つながる」を指標とした定期的な自己研鑽と、教職員集団の縦横の連携強化を図る。

・同和教育の成果と手法を継承しつつ、障がい特性や生育環境を深く理解した、きめ細やかな指導体制を構築する。

・生徒が「包み込まれている」と実感できる組織運営を推進する。

5 本年度の研究主題 「令和8年度木津川市特色ある学校づくり推進事業」指定

1 事業内容

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善 ～生徒指導を意識した授業改善～

2 研究テーマ

誰もが自分を心から好きになれる学校を目指して ～高めあい・認めあい・木津二あい～

木津川市立木津南中学校



木津南中学校校歌

作詞 長澤 秀明
作曲 森本陽三郎

一
水澄み渡る 木津川の
豊かな流れ 永遠に
古き都に 思いはせ
高き理想を 求めゆく
我らは学ぶ 未来のために
ともに創らん 木津南

二
清風薫る 青い空
白き学舎 堂々と
若人の声 響き合い
明日への希望 わき上がる
我らは紡ぐ たがいの絆
ともに歩まん 木津南

郵便番号 619-0216
所在地 京都府木津川市州見台四丁目26番地
電話 (0774) 71-0850
FAX (0774) 71-0853
E-mail kizu-m-jhs@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kizu-jhs/>



1. 沿革

平成

23. 4. 1 木津川市立木津中学校から分離、開校（4月5日開校式）
京都府学校図書館機能充実推進事業研究指定（4年間）
4. 8 第1回入学式（入学生134名 全校生徒281名 10学級）
24. 1. 18 校歌発表会
3. 14 第1回卒業証書授与式（卒業生 51名）
4. 10 第2回入学式（入学生163名 全校生徒394名 13学級）
9. 13 木津南中学校区「きずなプロジェクト」開設 第1回挨拶運動実施
25. 3. 14 第2回卒業証書授与式（卒業生 97名）
4. 10 第3回入学式（入学生186名 全校生徒484名 16学級）
26. 3. 14 第3回卒業証書授与式（卒業生 136名）
4. 9 第4回入学式（入学生204名 全校生徒511名 18学級）
27. 3. 13 第4回卒業証書授与式（卒業生 164名）
4. 8 第5回入学式（入学生228名 全校生徒618名 19学級）
28. 3. 14 第5回卒業証書授与式（卒業生 185名）
4. 8 第6回入学式（入学生242名 全校生徒673名 21学級）
29. 3. 14 第6回卒業証書授与式（卒業生 206名）
4. 10 第7回入学式（入学生248名 全校生徒717名 22学級）
7. 30 平成29年度京都府中学校総合体育大会 サッカーの部 優勝
8. 19 第48回全国中学校サッカー大会 出場（熊本県）
30. 3. 14 第7回卒業証書授与式（卒業生 226名）
4. 1 京都式チーム学校推進校実践研究指定—事務共同実施—（3年間）
4. 10 第8回入学式（入学生267名 全校生徒755名 23学級）
7. 31 平成30年度京都府中学校総合体育大会 サッカーの部 優勝
8. 17 第49回全国中学校柔道大会 出場（広島県）
31. 3. 14 第8回卒業証書授与式（卒業生 239名）
4. 10 第9回入学式（入学生261名 全校生徒777名 23学級）

令和

- 元. 7. 30 令和元年度京都府中学校総合体育大会 サッカーの部 優勝
8. 8 令和元年度近畿中学校総合体育大会 サッカーの部 3位入賞
8. 19 第50回全国中学校サッカー大会（奈良県）2回戦進出
2. 3. 13 第9回卒業証書授与式（卒業生248名）
4. 8 第10回入学式（入学生298名 全校生徒829名 24学級）
3. 3. 12 第10回卒業証書授与式（卒業生266名）
4. 8 第11回入学式（入学生306名 全校生徒869名 25学級）
4. 3. 14 第11回卒業証書授与式（卒業生266名）
4. 8 第12回入学式（入学生241名 全校生徒845名 25学級）
5. 3. 14 第12回卒業証書授与式（卒業生300名）
4. 10 第13回入学式（入学生321名 全校生徒871名 27学級）
7. 30 令和5年度京都府中学校総合体育大会 ソフトボールの部 優勝
8. 6 令和5年度近畿中学校総合体育大会 ソフトボールの部 3位入賞
8. 19 第45回全国中学校ソフトボール大会出場（香川県）
6. 3. 14 第13回卒業証書授与式（卒業生310名）
6. 4. 10 第14回入学式（入学生313名 全校生徒869名 27学級）
8. 17 令和6年度全日本中学校陸上競技選手権大会 7位入賞（男子砲丸投）
7. 3. 14 第14回卒業証書授与式（卒業生240名）
4. 9 第15回入学式（入学生311名 全校生徒942名 29学級）
8. 3. 14 第15回卒業証書授与式（卒業生316名）
4. 9 第16回入学式（入学生317名 全校生徒951名 30学級）

2. 教育

(1) 教育目標

主体的に未来を創造し、心豊かでたくましく生きる生徒の育成

(2) 目指す生徒像

- ア 主体的に考え行動する生徒
- イ 強さとしなやかさを持つ生徒
- ウ 目標を持ち、挑戦する生徒
- エ 礼儀と規律を重んじる生徒

(3) 目指す学校像

すべての生徒が「包み込まれているという感覚」を実感できる学校

(4) 学校経営方針

① 学力の充実・向上

- ・「主体的に学習に取り組む態度」を育む授業づくりに努める。
- ・「学びのパスポート」の結果分析や各教科の課題解決に向けての研究を行う。
- ・基礎、基本の徹底と、それらを活用して課題解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育み、学習意欲の向上を図る。
- ・ICT機器の授業及び家庭での積極的な活用方法を研究する。

② 不登校の課題解決と豊かな人間性の育成

- ・生徒指導部を中心に不登校の未然防止と不登校生徒への組織的な対応を行う。
- ・道徳教育・体験活動等を充実させ、主体的な判断ができる自立した生徒の育成を目指す。
- ・人権教育を教育活動全体に位置付け、一人一人を大切にしたい教育の推進と教職員研修の充実を図る。

③ 信頼できる学校体制の構築

- ・一人一人が安心感と存在感を持てる学級経営を行う。
- ・適切な学校評価を行い、家庭、地域へ発信し説明責任を果たすとともに、期待に応える学校経営を行う。
- ・教科、領域、学校運営に係る研究を重視し、先進的な教育活動の充実を図る。

(5) 本年度の指導の重点

【重点目標1】「個別最適な学び」と「協働的な学び」

主体的、対話的で深い学びの実現を目標とした授業改善を実施し、質の高い確かな学力を育む。

- ① 主体的、対話的で深い学びの実現を目指した授業の充実
- ② 他者の考えとつなげ合いながら学びを深める授業の創造
- ③ 学びに向かう力を高める授業の展開
- ④ ICTを活用した家庭学習の充実

【重点目標2】多様性を尊重し合う豊かな人間性

道徳教育や人権教育を教育活動全体に位置付け、道徳的な心情、判断力を養い、人権問題についての正しい理解を通して、課題解決のために行動できる態度を育てる。

- ① 道徳の授業記録の改善と適切な評価の実施
- ② 発達段階に応じた体験活動を含めた人権学習の実践
- ③ 道徳教育、人権教育に係る教職員研修の実施
- ④ 教育相談の充実によるいじめ、問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応

【重点目標 3】 健やかな体の成長

健康で安全な生活を目指し、指導の充実を図る。安心安全な学校づくりに力を入れ、健康・安全・防災に関する取組を進める。

- ① 健康教育・食育の推進と指導内容の充実
- ② 避難訓練を中心とした防災学習の充実
- ③ 生徒の活動を充実し、健康・安全への意識向上を図る。

【重点目標 4】 持続可能な社会を築く生きる力

望ましい集団活動や体験的な活動を通して、豊かな学校生活を築くとともに、公共の精神を養う。社会性の育成を図ることで、よりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治能力の育成を目指す。

- ① 学級において個々の自己有用感を育てる取組の充実
- ② 生徒会・専門委員会・リーダー会活動によるリーダーの育成
- ③ 不登校の未然防止の為の組織的な対応

【重点目標 5】 学びを支える教育環境の整備

知識基盤社会の時代において、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。

- ① 自己の生き方や進路について考え、その課題を解決していく実践的態度をはぐくむ内容の工夫
- ② 職場体験学習やそれに代わるキャリア教育などを取り入れた多様な学習の実施
- ③ ICT活用能力と情報モラルに関する指導の充実

【重点目標 6】 地域を学び、家庭・地域とともに生きる

家庭や地域との連携、協力を強め、学校への信頼を高め、地域に開かれた学校作りを進める。地域コーディネーターとの連携を軸に、地域ぐるみで生徒を育てる。地域を学び、将来の本市を担う生徒を育成する。

- ① 地域の人材、研究機関、企業等とのネットワークを活用した授業等の実施
- ② 職員研修等の強化による教職員のコンプライアンス意識の向上
- ③ 学校公開や授業参観、HPの内容充実を通じた地域へのアピール

木津川市立泉川中学校



泉川中学校校歌

作詞 辰己利治
作曲 桜井武雄

一、清き山なみ めぐらせる

恭仁の宮居を まのあたり

おおしくつよく すこやかに

学びにはげむ 若き友

ああ泉川中学に ああ泉川中学に

若き時代の 理想あり

二、山のみどりの かげうつし

泉のながれ たゆるなく

こころを珠と みがきつつ

真理をもとめ つどう友

ああ泉川中学に ああ泉川中学に

とわにかわらぬ 誠あり

三、古くさかえし 三つのさと

あかるき文化 うけつぎて

平和の 基 きづかんと

たがいに睦ぶ 若き日々

ああ泉川中学に ああ泉川中学に

ひかりかがやく 未来あり

郵便番号 619-1142
所在地 京都府木津川市加茂町大野烏田 75 番地
電話 (0774) 76-2101
FAX (0774) 76-8233
E-mail izumi-jhs@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/izumigawa-jhs/>

1 沿革

昭和	22 年 5 月 3 日	京都府相楽郡組合立泉川中学校と校名変更
	22 年 6 月 12 日	京都府相楽郡加茂町外 2 ヶ村組合立泉川中学校と校名変更
	23 年 5 月 12 日	泉川中学校育友会結成
	23 年 7 月 30 日	木造 2 階建 10 教室・便所竣工、運動場整備
	25 年 5 月 18 日	木造平屋建 5 教室・本館・便所竣工
	26 年 2 月 25 日	泉川中学校同窓会発足
	26 年 4 月 1 日	3 町村合併に伴い加茂町立泉川中学校と改称
	31 年 2 月 18 日	校旗、校歌生徒会歌制定
	31 年 9 月 28 日	特別教室竣工
	34 年 4 月 1 日	屋内運動場竣工
	38 年 6 月 29 日	米国ウィラード中学校と姉妹校関係成立
	39 年 11 月 26 日	国際理解教育研究発表
	40 年 1 月 7 日	沖縄山内中学校と姉妹校関係成立
	41 年 2 月 15 日	国際理解教育研究優秀校として学校教育賞受賞
	41 年 3 月 9 日	国際理解教育碑建設
	42 年 3 月 27 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	42 年 12 月 4 日	補習学級開設
	43 年 3 月 28 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	43 年 8 月 8 日	姉妹校沖縄山内中学校生徒本校訪問
	44 年 3 月 31 日	普通 9 教室改築落成
	44 年 3 月 31 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	44 年 4 月 1 日	障害児学級開設
	44 年 5 月 1 日	普通教室改築竣工
	45 年 3 月 31 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	45 年 9 月 25 日	補習学級で部落問題学習を始める
	46 年 1 月 18 日	補習学級を別の地域でも開設
	46 年 1 月 28 日	本館（含特別教室）改築竣工
	46 年 3 月 31 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
	46 年 6 月 7 日	2 地域の補習学級を隣保館で合同開設
	46 年 10 月 30 日	文化祭意見発表会の部で生徒が部落問題を訴える
	47 年 11 月 6 日	社会科の中における部落問題認識学習について研究発表
	48 年 4 月 8 日	ユネスコ協同学校に指定される
	50 年 1 月 17 日	ユネスコ協同学校研究発表
	52 年 11 月 11 日	創立 30 周年記念文化祭
	54 年 5 月 7 日	補習学級を児童館で開設
	57 年 1 月 8 日	南加茂台より第 1 回転入生受入れ
	57 年 9 月 1 日	校地移転（大字大野）・校舎竣工普通教室 12 教室・特別教室 7 教室
	58 年 8 月 22 日	水泳プール竣工
	59 年 3 月 19 日	普通教室 7 教室・特別教室、美術、音楽、理科教室 3 教室竣工
	62 年 4 月 6 日	障害児学級を「あすなろ学級」と命名
	62 年 11 月 5 日	第 24 回全国花いっぱいコンクール優秀賞受賞
	63 年 3 月 3 日	普通教室 3 教室・視聴覚室 1 教室竣工
平成	2 年 1 月 31 日	普通教室 6 教室竣工
	2 年 12 月 7 日	京都府教育委員会指定教育実践推進研究発表（国語科）
	5 年 3 月 1 日	泉川中学校育友会を泉川中学校 P T A に改称
	5 年 4 月 1 日	京都府社会福祉協力校の指定を受ける（5 年度～7 年度）
	5 年 9 月 1 日	コンピュータ教室完成

6 年 11 月 21 日	京都府中学校教育研究会国語部研究大会
8 年 2 月 1 日	府、さわやか賞（奨励賞）受賞
8 年 11 月 28 日	相楽郡中学校教育研究会指定研究校研究発表（特別活動を通して）
9 年 7 月 1 日	平成9・10年度文部省指定スクールカウンセラー活用調査研究委託事業開始
9 年 11 月 1 日	50周年記念式典挙行
11 年 4 月 1 日	スクールカウンセラー、（町）心の教室相談員の委託事業開始（文部省）
12 年 3 月 24 日	コンピュータ機器入れ替え（教育用）
13 年 4 月 1 日	情緒障害児学級を開設
15 年 10 月 28 日	京都府中学校教育研究会英語部研究発表会（公開授業）
18 年 4 月 1 日	通級指導教室開設
19 年 3 月 12 日	木津川市誕生に伴い、木津川市立泉川中学校と改称
20 年 4 月 1 日	教育目標を「質の高い教育を目指し健やかな体をつくり、心豊かで確かな学力を持った生徒を育成する」と改訂
20 年 10 月 18 日	第55回山城地方中学校駅伝競走大会 男子初優勝(男子41校出場)
21 年 4 月 1 日	京都府教育委員会及び京都府山城教育局、木津川市教育委員会「京の子ども、夢・未来校（『ことばの力』育成プログラム開発協力校）」の研究指定を受ける（平成21・22年度）
21 年 6 月 20 日	第62回山城地方中学校陸上競技大会 男女総合優勝
21 年 10 月 17 日	第56回山城地方中学校駅伝競走大会 男子二連覇(男子41校出場)
22 年 4 月 1 日	平成22年度独立行政法人 科学技術振興機構「SPP科学館連携事業指定校」
22 年 4 月 1 日	テニスコート（2面）、バレーボールコート（1面）及び学校給食配膳室を新設
22 年 4 月 12 日	学校給食開始
22 年 6 月 19 日	第63回山城地方中学校陸上競技大会 男女総合優勝
22 年 12 月 7 日	「ことばの力」育成プログラム開発協力校研究成果発表会開催
23 年 4 月 1 日	京都府教育委員会指定「京の未来創造校」・木津川市教育委員会指定「教育実践推進校」（平成23・24年度）
24 年 12 月 1 日	京都府教育委員会指定「京の未来創造校」・木津川市教育委員会指定「教育実践推進校」研究発表
27 年 4 月 1 日	相楽地方中学校教育研究会の研究指定を受ける(平成27・28年度) 「学びの仲間づくり」を研究テーマとして質の高い学力の育成をめざす
28 年 11 月 30 日	相楽地方中学校教育研究会指定研究校研究発表（テーマ「学びの仲間づくり」）
令和 4 年 9 月 26 日	沖縄県山内中学校に校長訪問（姉妹校再開 姉妹校としての今後の在り方を検討）
7 年 5 月 28 日	沖縄県修学旅行実施「平和学習と体験学習」
8 年 5 月 13 日	沖縄県山内中学校にて58年ぶりとなる姉妹校生徒間交流実施（修学旅行）

2 教育目標

学校教育目標（加茂地域小中共通）

『生きる力をはぐくみ、幸せな未来を拓く生徒（児童）の育成』

3 目指す生徒像

小中一貫した教育

『かしこく(知) やさしく(徳) たのめしく(体)』

4 目指す学校像

『支え合い、高め合い、乗り越え合える学びの集団』

テーマ

「授業でこそ認知能力と非認知能力を一体的に育てよう！Ⅱ」

○認知能力：基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる指導の工夫改善

○非認知能力：課題解決型学習や体験学習等を通して育む

○「泉トレとスクール・エコロジカル・アプローチ」の実践と評価

◎本校の特色ある教育（沖縄の姉妹校 山内中学校との交流・ふるさとの学習）

※平和学習を人権教育の柱の一つに定着させる。

※時代を超えた姉妹校交流の充実とつながる力の育成を多様な方法で行う。

※沖縄修学旅行二年目の取組と評価を行う。

※泉川中学校の **Peace** 加茂ルーム等の活用を地域の方々と共に考え、様々な繋がりを大切にできる場にしていく。

※加茂町総がかりの教育を目指した、学校運営協議会（コミュニティスクール）の円滑なスタート

- （１）「主体的に学び考える力」「多様な人とつながる力」「新しい価値を生み出す力」を備え、かけがえのない生命や基本的人権を尊重する人間性豊かな生徒を育成する。
- （２）個性の伸長を図り、基礎的・基本的な学力を充実させ、生涯にわたり主体的に逞しく生きる生徒を育成する。
- （３）「泉トレとスクール・エコロジカル・アプローチ」の実践と評価をする。
- （４）学校運営協議会（コミュニティスクール）の積極的な運営と評価をする。

5 目指す教師像（自らも非認知能力を高める事のできる教師）

※「和と情熱」を持って、互いの良さを認め合い、支え合える教師集団

- （１）生徒一人一人を深く理解し、寄り添った指導ができるよう、小さな変化にも気づくことができる教師
→子ども理解に努め、子どもの思いを汲み取ることができる教師
- （２）豊かな人間性と高い専門性に基づく優れた指導力を有し、生徒一人一人が生涯にわたり豊かな未来を切り拓いていけるよう、それぞれの個性や能力を最大限に伸ばすことができる教師
→常に授業改善をし、楽しく、わかる授業を目指す教師

- (3) 探究心や自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を高めながら、諸課題の解決に向け挑戦することができる教師
→自己の長所を伸ばし、短所を改善する自らを高める教師
- (4) 他の教職員、保護者、地域社会、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担しながら、組織的・協働的に諸課題を解決するため、チームの一員としてつながることができる教師
→多様な集団と関わりながら、課題に向き合える教師
- (5) 次代を担う人材に必要な学びを提供できるよう、広い視野で時代や社会、環境の変化を的確につかみ取り、未来を展望することができる教師
→教育の動向を把握し、教育課題に対応しようとする教師

6 学校経営方針

- ◆ 学習指導要領及び第2期京都府教育振興プラン並びに、第2次木津川市教育振興基本計画や学校教育の重点を踏まえ、教育目標と学校経営方針を明確にし、社会に開かれた教育課程を編成する。

- (1) 認知能力と非認知能力を一体的にはぐくむ教育とその展開の創造
- (2) 生涯にわたり主体的に学んでいける生徒の育成
- (3) 何事にも努力する人間性豊かな生徒の育成
- (4) 地域に開かれ、地域とともに成長する学校の創造
- (5) 豊かな人間性と広い社会性、高い専門性を持った教師集団の育成

7 具体的方針

- (1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」
 - ア 基礎的・基本的な知識・技能を習得するための授業改善と効果的な教材の研究・研修
 - イ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
 - ウ 学力調査等を活用し、客観的な学力の把握と分析から一人一人の学力状況に応じた学習支援
 - エ 「泉トレとスクール・エコロジカル・アプローチ」を活かした認知能力と非認知能力を一体的に育む教育の実践と評価
 - オ 総合的な学習の時間を軸とした、課題解決型の学習の充実
 - カ 課題解決型の学習を進めるため、グループ学習等を充実
 - キ 地域の人材や教材、専門家を積極的に活用した体験活動の充実
 - ク 個に応じた適切な進路指導
 - ケ 主体的に学習に向かう習慣を身に付けさせる家庭学習の推進
 - コ 目標や夢に向かい、将来を展望できるキャリア教育の推進
- (2) 多様性を尊重し合う豊かな人間性
 - ア 特別の教科道德の指導・評価・研修の充実
 - イ 生徒指導の4つの視点を活かした組織的指導の充実と生徒一人一人が自己指導能力を身に付ける教育活動の実践（「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」）
 - ウ 同和問題学習及び平和学習をはじめとする人権学習の充実と指導力向上を図る

人権研修の充実

エ 校内委員会等組織の充実と個別の指導計画等の作成と関係機関と連携した支援の充実

(3) 健やかな体の成長

ア 安心・安全な学校給食についての指導と食育の推進等による望ましい食習慣の確立

イ アレルギー対応等への丁寧な指導（関係機関や保護者・生徒との連携や情報交流等）

ウ 体力テスト等の結果分析に基づいた保健体育科の授業を軸とした体力向上の取組

エ 持続可能な部活動の推進

オ 薬物乱用防止教室等、現代的諸問題に対応した指導の実施

カ 事故、災害等から身を守る安全意識と知識を育む

(4) 持続可能な社会を築く生きる力

ア 指導計画の改善、校内研修の充実等による組織的・系統的なキャリア教育の実施とキャリアパスポートの更なる活用

イ 確かな学力を身に付けさせるために、ICT機器等の利活用を推進

ウ 情報モラルの向上を図る指導を推進

エ 社会人講師等を活用し、地域と連携した環境教育の推進

オ 校内・教室等身近な所から環境教育の推進を図る

カ コミュニケーション能力の育成、国際交流事業の充実

キ 教職員の防災への意識向上と避難訓練等による生徒への指導の徹底

(5) 学びを支える教育環境の整備

ア 教職員の「和と情熱」をもった協働体制をつくる学校組織マネジメント能力の向上

イ 教職員個々の経験・職能に応じた研修、資質・能力の向上を図る研修の推進

ウ 学校だよりやホームページ等により、本校の取組を家庭や地域へ発信

エ 全教育課程の中で保護者や地域住民の学校教育への参画

オ 安全・安心を第一にした危機管理体制の確立及び、地域との連携による危機管理

カ ダーツ事件等の反省を風化することが無いよう学校安全の日の取組の実施

(6) 地域を学び、家庭・地域とともに生きる

ア 学校運営協議会（コミュニティスクール）の積極的な運営と評価

イ 地域学校協働本部事業、学校ボランティア等の整理と活用

ウ 学校だより、HP、学校地域公開等による積極的な情報発信

エ 地域に開かれた学校を目指し、地域とのつながりの構築

オ 総合的な学習の時間を軸とした「ふるさと学習」の充実と深化

カ ゲストティーチャーや関係機関の出前授業等での地域資源の活用

(7) その他

ア 泉川中学校区の更なる小中連携の推進と小中一貫校の研究・研修と思考

イ PTAの組織及び活動の見直し等、持続可能な取組の精選

木津川市立山城中学校



山城中学校校歌

作詞 中谷 志津枝
作曲 中原 都男

一 山城平野ひろがりて
学びの園にしこのめの
希望の星はまたたけり
仰ぐひとみに青春の
もゆるいのちは輝きぬ
我等が山城中学校

二 遠山なみに雲なびき
朝日夕日の照りはゆる
歴史におう我が里よ
輝く伝え生かしつつ
新たな理想めざしゆく
我等が山城中学校

三 泉の川の水きよき
平和の姿たたえつつ
小やむときなく流れゆく
いざや友垣手をとりに
ともに睦ばむとこしえに
我等が山城中学校

郵便番号	619-0205
所在地	京都府木津川市山城町椿井柳田 33 番地
電話	(0774)86-2001
F A X	(0774)86-5381
E-mail	yama-jhs@kizu.ed.jp
HP・URL	http://www.kizu.ed.jp/yamashiro-jhs/

1 学校の沿革

昭和22年 5月	上粕町・高麗村・棚倉村組合立上粕中学校として開校
22年 8月	校章制定
22年10月	上粕中学校育友会結成
23年 7月	新校舎移転 2階建10教室竣工
23年 7月	体育後援会の結成
24年12月	上粕中学校同窓会の結成
25年 5月	本館棟並びに平屋建 5 教室竣工
27年 1月	組合立山城中学校と校名を変更
31年 8月	上粕町・高麗村・棚倉村の町村合併により山城町と命名され、それに伴い山城町立山城中学校と校名を変更
32年 2月	校歌制定（作詞中谷志津枝氏・作曲中原都男氏）
34年10月	体育館（鉄筋コンクリート造）竣工（549㎡）
37年 3月	技術科教室完成（147㎡）
38年 2月	文部省指定産業教育研究発表会
42年 4月	完全給食開始
42年 6月	NHK学校放送指定校となる（テレビ視聴）
45年 3月	鉄筋コンクリート 3 階建 普通教室(9)の竣工
46年 3月	〃 〃 特別教室(6)・準備室(4)の竣工
47年 3月	〃 〃 管理室・図書室・視聴覚教室・会議室等の竣工
48年 3月	校庭拡張・整備竣工（3,647㎡）
49年 5月	技術科教室新築（198㎡）
51年 3月	格技室の完成（旧技術科室の改修により）
51年 8月	自転車置場の完成 防球ネット完成（南側）
53年 3月	創立30周年記念にクラブボックスの完成（育友会より）
59年 3月	鉄筋コンクリート 2 階建（地下倉庫） 普通教室(4)の増築竣工
59年 4月	京都府社会福祉協力校指定（3ヵ年）
60年 7月	京都府中学校陸上競技選手権大会 男子総合準優勝 女子総合優勝
61年11月	府・日本体育学校保健センター指定健康安全教育研究実践発表会
63年10月	第43回国民体育大会 京都国体開催 山城町会場（成年女子ソフトボール）
平成元年11月	文部省指定教育実践推進校 道徳教育研究発表会開催
9年10月	創立50周年記念式典開催（記念誌「わかば」発行）
11年 7月	大規模改造工事（Ⅰ期・耐震）
12年 7月	大規模改造工事（Ⅱ期・耐震）
13年 2月	コンピュータ新機種の導入
14年 4月	京都府教育委員会 環境教育推進校「京のエコスクール」（2ヵ年）指定
15年 2月	第3回世界水フォーラム関連イベント「身近な川の生物調査を通じて、水辺環境の保全を考える」シンポジウム発表（於：京都テルサ）
15年 4月	財団法人 省エネルギーセンター「省エネルギー教育推進モデル校」（3ヵ年）指定
15年11月	京都府教育委員会 環境教育推進校「京のエコスクール」研究発表会開催
15年11月	平成15年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞（於：東京ホテルニューオオタニ）
16年 2月	平成15年度省エネ学習事例発表全国大会発表（於：東京パナソニックセンター）
16年 4月	通学服をブレザー等に変更
16年 6月	財団法人 社会経済生産性本部エネルギー環境教育情報センター「エネルギー教育実践校」（3ヵ年）指定
16年11月	社団法人 食品容器環境美化協会「第5回環境美化教育最優秀賞 文部科学大臣奨励賞」受賞
16年12月	財団法人 省エネルギーセンター「省エネ共和国」建国
17年 2月	サンケイ新聞写真ニュースセンター「第1回学校自慢エコ大賞 中学校部門エコ大賞」受賞
18年10月	体育館竣工式
19年 3月	日本エネルギー環境教育学会「第2回シンポジウム」発表（於：東京パナソニックセンター）
19年 3月	木津川市誕生に伴い、木津川市立山城中学校と改称
20年 4月	文部科学省「公立中学校運動部活動振興事業」に指定
21年 4月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択
21年 4月	相楽地方中学校教育研究会より平成21,22年度研究校に指定
22年 4月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択
22年12月	相楽地方中学校教育研究会指定発表 「質の高い学力の育成とその基盤となるコミュニケーション能力の育成」
23年 2月	文部科学省委託「栄養教諭を中核とした食育推進事業」研究発表

23年4月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択
24年3月	平成23年度交通安全優良校表彰
26年4月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択
27年4月	京都府教育委員会「N I E実践指定校」に指定
28年10月	創立70周年記念式典開催(高岡寿成氏による記念講演)
29年4月	中高生の科学研究実践活動推進プログラム(科学技術振興機構)研究指定
31年4月	木津川市「特色ある学校づくり推進事業」平成31(令和元)年度・令和2年度の2年間の研究指定
令和4年4月	木津川市「特色ある学校づくり推進事業」令和4年度の研究指定
5年4月	木津川市「特色ある学校づくり推進事業」令和5年度の研究指定
6年4月	木津川市「特色ある学校づくり推進事業」令和6年度の研究指定
7年4月	木津川市「特色ある学校づくり推進事業」令和7年度の研究指定
8年4月	木津川市「特色ある学校づくり推進事業」令和8年度の研究指定

2 教 育

(1) 学校教育目標

深く考え、明るく強く心豊かな生徒の育成

【めざす生徒像】

ア 自ら学ぶ意欲をもち、深く考える生徒

イ 豊かな心と協調性をもつ生徒

ウ 強い心身とたくましい実践力を備えた生徒

【あいことば】

一生懸命が格好良い。仲間とともに・・・

(2) 学校運営方針

上記の目標を達成するために、「第2次木津川市教育振興基本計画～共に「学び」「喜び」「成長し」未来を力強く生きる“きづがわっ子”～」をもとに、生徒・教職員が一体となり、保護者や地域社会との連携のもと学校づくりを推進する。

- ① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進
- ② 多様性を尊重し合う豊かな人間性の育成
- ③ 地域を学び、家庭・地域とともに生きる力の育成
- ④ 教職員の資質能力の向上を図る研修や取組の充実
- ⑤ 日常の点検活動を徹底した、安心・安全な教育環境づくり
- ⑥ 教職員の働き方改革の実践による良好な教育環境づくり

(3) 重点目標

① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進

- ア 約10年取組を進めている「山中カルデット」による「思いやり」を養いつつ、他者との協働により、より良い課題解決策を導き出す「課題解決型の学習」を導入する。
- イ 非認知能力の育成そして認知能力の育成を目指し、主体的対話的で深い学びの実現による確かな学力の育成と、生徒相互のつながりから生まれる寛容性を養う。
- ウ 「木津川市特色ある学校づくり推進事業」指定による研究・研修の推進と、小中連携等の諸取組の推進を通し、指導方法の工夫改善を推進する。
- エ 学力診断テストの分析結果などを活用し、諸指導計画等の検証改善を推進し、組織的な指導体制のもと、生徒個々の学力向上につなげる。

② 多様性を尊重し合う豊かな人間性の育成

- ア 「特別の教科 道徳」の指導と評価、また、人権学習や情報モラルの学習等、校内の豊かな心の育成に関わる教育活動の改善、指導力向上を進める。また、そのための教職員研修の充実を図る。
- イ 「総合的な学習の時間」等を利用したふるさと学習を充実させ、自己肯定感の涵養の一助とし、郷土愛をはぐくみ未来へ継承する教育を推進する。
- ウ 朝読書の充実を軸にした、読書活動の積極的な推進を図る。
- エ 特別支援と教育相談の体制の充実を図り、必要な生徒への支援を組織的に進める。
- オ 「一生懸命が格好良い」と胸を張れる意欲的な日々の生活、また、「仲間とともに」学び合い、感動を分かち合う学校生活の構築のための指導をより充実させる。

③ 地域を学び、家庭・地域とともに生きる力の育成

- ア 学校評価等を活用し、積極的な情報提示、学校公開と説明責任の徹底を図る。
- イ 文書管理の徹底、及び、守秘義務、服務規律の遵守、また、危機管理意識の高揚により、一層安心安全な学校生活の構築を推進する。
- ウ 教職員の働き方改革の実践により、良好な教育環境づくりを充実させる。

(4) 具体的実践計画

項 目	実 践 事 項
①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進	・主体的な学習意欲を促進させる対話的な授業スタイルの研究の推進 ・「課題解決型の学習」の研究推進 ・積極的な授業研究の実施と先進校等での研修への参加 ・小中連携の積極的な活用と、センター出前講座等の活用 ・「山城中学校のしおり」の授業マナー・ルールに関わる記述等に基づく組織的な指導の推進 ・「マイスタ」(終学活学習)の充実 ・家庭学習の内容や方法を充実させる指導の充実 ・家庭と連携した学習習慣確立のための指導の推進
②多様性を尊重し合う豊かな人間性の育成	・人権学習など自他の命と人間の尊厳に関わる学習の充実と、いじめ防止の諸指導の徹底 ・食育の取組など健康な生活習慣の確立 ・「総合的な学習の時間」等を利用したふるさと学習の充実 ・特別支援学級生徒及び、通常学級の支援の必要な生徒への組織的な特別支援教育の推進 ・個々の生徒理解のための教育相談活動の活性化 ・生徒理解と有効な指導のための情報の整備 ・「時間」「掃除」「あいさつ」など基本的行動の徹底 ・仲間とともに学び合い、仲間とともに感動を分かち合う学校生活の構築 ・「一生懸命が格好良い」と胸を張れる、意欲的な生活の構築
③地域を学び、家庭・地域とともに生きる力の育成 その他	・地域を大切に思う「郷土愛」の育成と地域とともにつくる「ふるさと学習」の推進 ・「課題解決型の学習」を進めることでより「ふるさと学習」を充実させ、地域とのつながりを大切にする取組の推進 ・学校運営協議会の協力の下、地域と学校が協同で「ふるさと学習」をすすめる(地域人材等の積極的活用) ・福祉やボランティア活動等による地域貢献 ・危機管理意識の高揚による、安心安全な学校生活の構築 ・文書管理、守秘義務、服務規律の徹底 ・教職員の働き方改革に沿った良好な教育環境づくりの推進

(5) 研究テーマ

「課題解決型の学習Problem Based Learning」導入
 ～非認知能力育成 → 認知能力育成(学力向上)をめざす～
 ☆「学び合い学習」は『思いやり』、「PBL」は『強さ(寛容性)』